optimus bright

L-07C

取扱説明書

はじめに

L-07Cをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

FOMA端末のご使用にあたって

- L-07Cは、W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている場合で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の送信内容と異なって受信される場合があります。
- 本FOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

SIMロック解除

本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。また、本FOMA端末から取扱説明書の最新情報を見ることができます。

■「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード

http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

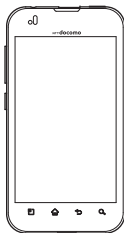
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

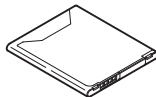
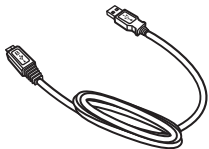
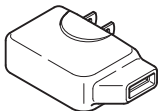
■「取扱説明書（eトリセツ）」閲覧

ホーム画面で「アプリ」▶「取扱説明書」をタップしてください。

本体付属品および主なオプション品

本体付属品

L-07C本体
（保証書、リアカバー L24を含む）

クイックスタートガイド

電池パック L14
（取扱説明書付き）

USB接続ケーブル L01
（取扱説明書付き）

ACアダプタ L02
（保証書、取扱説明書付き）

リアカバー（試供品）※
（取扱説明書付き）

※ 本体色と異なる２色（本体色Blackの場合はMagenta、Blue、本体色Whiteの場合はLight Blue、Light Pink）が同梱されています。

microSDHCカード（4GB）（試供品）
（取扱説明書付き）

本書のご使用にあたって

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の本文中においては「L-07C」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- FOMAカード（青色・緑色・白色）をご利用のお客様は、本書内に記載しているドコモUIMカードはFOMAカードと読み替えてください。

操作説明文について

本書では、タッチスクリーンで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

表記	操作内容
ホーム画面で「アプリ」	ホーム画面に表示されている ▦ をタップする
ホーム画面で ▣ ▶「設定」	ホーム画面に表示されている ▣ をタップして、表示された画面の ⚙ をタップする
「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」	画面に表示されている「無線とネットワーク」をタップして、続けて「モバイルネットワーク」をタップする
文字 を1秒以上タッチする	画面に表示されている 文字 を長めに（1～2秒間）触れたままにする

お知らせ

- 本書の操作説明は、ホームセレクタが「ホーム」に設定されていて、ホーム画面の内容が初期設定の場合で説明しています。ホーム画面の内容を変更した場合は、アプリケーションを開く操作などが本書の説明と異なることがあります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面と異なる場合があります。

目次

L-07Cのご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末はｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本FOMA端末は、データの同期やソフトウェア更新を行うための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- お客様の電話番号（自局番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で ▶「設定」▶「端末情報」▶「端末の状態」をタップしてください。
- ご利用のFOMA端末のソフトウェアバージョンは以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で ▶「設定」▶「端末情報」をタップしてください。
- 本FOMA端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。詳しくは「ソフトウェア更新」（P204）をご参照ください。
- FOMA端末の品質改善を行うため、ソフトウェア更新によってオペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。このため、常に最新のOSバージョンをご利用いただく必要があります。また、古いOSバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- FOMAカード（青色）をお使いの場合、海外で本FOMA端末を利用することはできません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 紛失に備え、画面ロックまたはパスワードを設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。詳しくは「位置情報とセキュリティ」（P105）をご参照ください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、AndroidマーケットなどのGoogleサービスなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットI以外のプロバイダはサポートしておりません。
- 本FOMA端末は64Kデータ通信には対応しておりません。

- 画像や動画、音楽などのお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。接続方法について、詳しくは「ファイル操作について」（P141）、もしくは「外部機器接続」（P148）をご参照ください。また、各種オンラインによるデータバックアップサービスのご利用をおすすめします。
- ご利用の料金プランにより、ポータブルWi-Fiアクセスポイントご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強く推奨します。
- ポータブルWi-Fiアクセスポイントのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- ポータブルWi-Fiアクセスポイントの初期設定では、外部機器と携帯電話間のセキュリティは設定されていません。必要に応じて、セキュリティを設定してください。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	説明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

絵表示	説明
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の7項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子（microUSB接続端子、イヤホンマイク端子）に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらアプリケーションなどを長時間使用すると、FOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

スピーカーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面には、裏面に飛散防止のテーピング加工を施した強化ガラス、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
- 各箇所の材質について→材質一覧（P20）

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠ 警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠ 警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所		材質	表面処理
外装ケース	ディスプレイ	Corning® Gorilla® Glass	－
	フロントカバー	PC＋GF樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
	リアカバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
	電池カバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
電源キー		PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
音量キー／Gキー		PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
カメラ部		PMMAシート(MR200)	－
フラッシュ部		PC樹脂	－
カメラ装飾部		AL	酸化処理
イヤホンマイク端子装飾部		PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
microUSB接続端子カバー		PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
電池収納面		Diecasing(マグネシウム)	ウレタン塗装処理
充電端子コネクタ(本体電池収納部)		リン青銅	金メッキ処理
スピーカーグリル		ステンレス鋼	－
ネジ		軟鋼	ZnBメッキ処理
電池パック	電池パック本体	ポリ塩化ビフェニル＋銅＋ニッケル＋金	－
	シール部	銀PET	黒つや消し印刷
	端子部	金メッキ処理	－
microSDカード取り付け部	ガイド	ステンレス鋼	－
	固定部	熱可塑性物質	－
	金属端子部	リン青銅	金メッキ処理
UIMカード取り付け部	ガイド	ステンレス鋼	－
	固定部	熱可塑性物質	－
	金属端子部	銅合金	ニッケル下地金メッキ

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **水をかけないでください。**

FOMA端末、電池パック、アダプタ、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。

また、外部接続機器を外部接続端子（microUSB接続端子、イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**

傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

■ タッチスクリーンの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。

タッチスクリーンが破損する原因となります。

■ 極端な高温、低温は避けてください。

温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■ お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

故障、破損の原因となります。

■ microUSB接続端子やイヤホンマイク端子を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。

故障、破損の原因となります。

■ 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ 通常はmicroUSB接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。

ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■ リアカバーを外したまま使用しないでください。

電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

■ 磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■ **電池パックは消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

■ **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

■ **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **次のような場所では、充電しないでください。**
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■ **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

■ ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■ 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■ お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■ お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数帯について

FOMA端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の銘版シールに記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4FH1/DS4/OF4
■■ ■■ ■■

2.4	：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/DS/OF	：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
1	：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4	：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
■■ ■■ ■■	：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

注意

■ **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク 〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

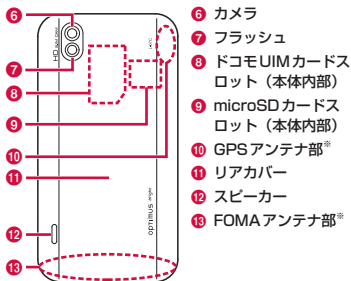
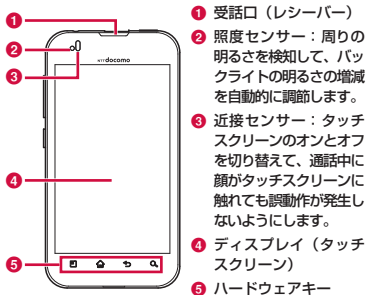
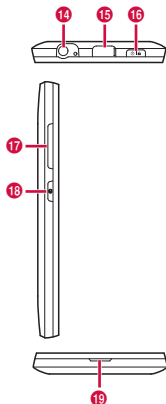
■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

各部の名称

❶ 受話口（レシーバー）
❷ 照度センサー：周りの明るさを検知して、バックライトの明るさの増減を自動的に調節します。
❸ 近接センサー：タッチスクリーンのオンとオフを切り替えて、通話中に顔がタッチスクリーンに触れても誤動作が発生しないようにします。
❹ ディスプレイ（タッチスクリーン）
❺ ハードウェアキー

❻ カメラ
❼ フラッシュ
❽ ドコモUIMカードスロット（本体内部）
❾ microSDカードスロット（本体内部）
❿ GPSアンテナ部※
⓫ リアカバー
⓬ スピーカー
⓭ FOMAアンテナ部※

※ アンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通信をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

⓮ イヤホンマイク端子
⓯ microUSB接続端子
⓰ 電源キー／画面ロックキー
⓱ 音量キー
⓲ Gキー：モーションジェスチャーを使用するときに使います。
⓳ マイク

お知らせ

- 各センサー部分にシールなどを貼らないでください。

ハードウェアキーについて

本FOMA端末前面には、ハードウェアキーが4つ配置されています。それぞれのハードウェアキーの役割は以下の通りです。

	このキーをタップすると、現在の画面またはアプリケーションで実行できるオプションメニューが表示されます。
	• このキーをタップすると、どのアプリケーションを使用中でも、どの画面が表示されていてもホーム画面が表示されます。 • このキーを1秒以上タップすると、最近利用したアプリケーションのアイコンが表示されます。アイコンをタップすると、アプリケーションを開くことができます（横向き画面で表示されるものがあります）。
	このキーをタップすると、直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネル、ソフトウェアキーボードを非表示にします。
	• ホーム画面でこのキーをタップすると、FOMA端末内の連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを検索できます。詳しくは「検索する」（P60）をご参照ください。 • アプリケーションを開いているときにこのキーをタップすると、アプリケーションの検索機能を利用できます。

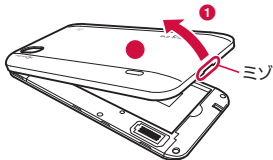
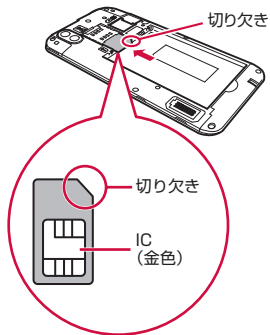
ドコモUIMカードについて

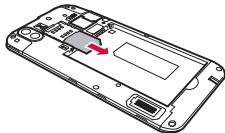
ドコモUIMカードとは、お客様の情報が記録されているICカードです。
ドコモUIMカードが本FOMA端末に取り付けられていないと、一部の機能は利用することができません。
ドコモUIMカードを挿入または取り出す前には、必ずFOMA端末の電源を切り、ACアダプタケーブルも取り外してください。

ドコモUIMカードの暗証番号について

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。変更の方法について詳しくは「暗証番号とドコモUIMカードの保護について」(P106)をご参照ください。

ドコモUIMカードを取り付ける

1 リアカバーのミゾに爪を入れ、●を軽く押さえながら矢印(❶)の方向へ持ち上げてリアカバーを取り外す

2 電池パックを取り出して（P34）、ドコモUIMカードの金色のIC面を下に向けてスロットに差し込む

ドコモUIMカードを取り外す

1 リアカバーを外し、電池パックを取り出して、ドコモUIMカードを指の先で押さえながら、手前にすべり出すように取り出す

microSDカードについて

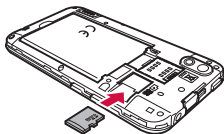
microSDカードは、互換性のある他の機器でも使用できます。

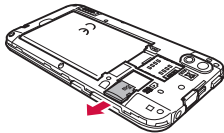
- microSDカードを取り付けていない場合、カメラ機能、音楽・動画の再生やダウンロードをご利用になれません。
- 本FOMA端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年12月現在）。
  対応のmicroSDカードは各microSDメーカへお問い合わせください。

microSDカードを取り付ける

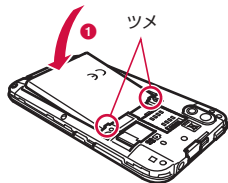
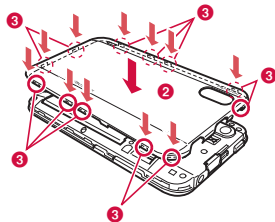
1 リアカバーを取り外す(P30)

2 microSDカードの金属端子面を下に向けてスロットに差し込む

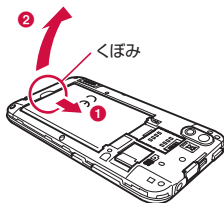
- microSDカードは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとmicroSDカードやスロットの破損、または抜き取れなくなる恐れがあります。

microSDカードを取り外す

1 リアカバーを外し、microSDカードを取り出す

電池パックについて

電池パックを取り付ける

1. リアカバーを取り外す(P30)
2. 電池パックは、CEマークがある面を上にしてFOMA端末と電池パックのツメを合わせるように矢印（❶）の方向へ挿入する

3. リアカバーの向きを確認して、本体に合わせるように装着し（❷）、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる（❸）
   - 矢印部分をしっかりと押し、FOMA端末とすきまがないことを確認してください。

電池パックを取り外す

1 リアカバーを取り外す (P30)

2 FOMA端末のくぼみに爪を入れ電池パックを矢印（❶）の方向に押しながら矢印（❷）の方向に持ち上げて取り外す

お知らせ

- 電池パックの取り付け／取り外しは、FOMA端末の電源を切ってから行ってください。

充電のしかた

電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が次第に短くなります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。電池パックの交換につきましては、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

充電について

- 詳しくは、ACアダプタ L02、USB接続ケーブル L01、FOMA充電microUSB変換アダプタ L01、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。
  また、ACアダプタ L02、FOMA ACアダプタ 02、FOMA海外兼用ACアダプタ01は、AC100Vから240Vまで対応しています。

- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- 電池パックが空の状態で充電を開始すると、しばらくの間FOMA端末の電源が入らない場合があります。
- 充電が完了したら、必ず電源コードを抜いてください。

長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電したままFOMA端末を長時間おくと、充電が終わった後FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池が切れてしまうことがあります。このようなときは、改めて正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本FOMA端末を一度USB接続ケーブル L01またはFOMA充電microUSB変換アダプタ L01から外し、改めてセットしてください。

充電時間（目安）

以下は、電池パックが空の状態から充電したときの時間（目安）です。低温時に充電すると、充電時間は長くなります。

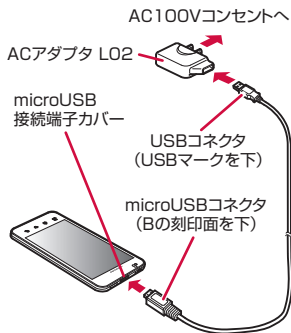
付属のACアダプタ L02	約270分

利用可能時間（目安）

以下は、十分に充電したときの使用時間（目安）です。使用時間は、使用環境や電池パックの状態により異なります。詳しくは、「主な仕様」（P211）をご参照ください。

連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約340時間
		移動時（3G固定）：約270時間
		移動時（自動）：約240時間
	GSM	約290時間（静止時）
連続通話時間	FOMA／3G	約300分
	GSM	約330分

ACアダプタで充電する

付属のACアダプタ L02を使って充電する方法を説明します。

1 付属のUSB接続ケーブル L01のUSBコネクタをACアダプタ L02のUSB接続端子に差し込む

2 FOMA端末のmicroUSB接続端子カバーを開く

3 USB接続ケーブル L01のmicroUSBコネクタをFOMA端末のmicroUSB接続端子に差し込む

- USB接続ケーブル L01は、「B」の刻印がある面を下にして水平に差し込んでください。

4 ACアダプタ L02のプラグを電源コンセントに差し込む

- 充電中は、ステータスバーの電池アイコンが のように表示されるか、 ▶ ▶ ▶ ▶ のようにアニメーション表示されます。
- 電池パックがフル充電状態になると、ステータスバーの電池アイコンが になります。

5 充電が終わったら、microUSBコネクタをFOMA端末から取り外し、microUSB接続端子カバーを閉じる

6 ACアダプタ L02のUSB接続端子からUSB接続ケーブル L01のUSBコネクタを取り外す

7 ACアダプタ L02のプラグを電源コンセントから取り外す

パソコンで充電する

1. FOMA端末のmicroUSB接続端子カバーを開く
2. USB接続ケーブル L01のmicroUSBコネクタをFOMA端末のmicroUSB接続端子に差し込む
   - USB接続ケーブル L01は、「B」の刻印がある面を下にして水平に差し込んでください。
3. USB接続ケーブル L01のUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む
4. 充電が終わったら、microUSBコネクタをFOMA端末から取り外し、microUSB接続端子カバーを閉じる
5. USBコネクタをパソコンのUSBポートから取り外す

電源を入れる／切る

電源を入れる

1. 電源キーを1秒以上押し続ける

2. 下端を上方向にドラッグする

お知らせ

- キーロック画面は、電源を入れたとき、またはバックライトを点灯にしたときに表示されます。
- PINにより画面ロックを設定している場合は、電源を入れるとPIN入力画面が表示されます。コードを入力して、「OK」をタップしてください。PINの入力ミスを訂正するには、[DEL] をタップします。

電源を切る

1 **電源キーを1秒以上押し続ける**

2 **「電源を切る」**

3 **「OK」**

バックライトを点灯する

FOMA端末では、誤動作の防止と省電力のため、一定時間が経過すると、バックライトが消灯されます。その状態でバックライトを点灯にしてキーロックを解除すると、バックライトが消灯される前の画面が表示されます。

1 **電源キーを押す**

- キーロック画面が表示されます。なお、バックライトが消灯の状態でも、着信時やアラーム鳴動時など自動的に点灯されることがあります。

お知らせ

- バックライト点灯中に電源キーを押すと、画面がロックします。
- バックライトが消灯されるまでの時間は設定できます。詳しくは「表示」(P104)をご参照ください。
- 画面ロック解除パターンを設定している場合、画面ロックを解除する前にパターンの入力が求められます。画面ロック解除パターンを作成する方法と解除する方法については、「位置情報とセキュリティ」(P105)をご参照ください。

タッチスクリーンの操作

本FOMA端末は、ディスプレイにタッチスクリーンを採用しており、スクリーンに触れることでさまざまな操作が行えます。

タッチスクリーン利用上の注意

タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
以下の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となります。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作

タッチスクリーンの操作

タッチスクリーンでは以下の操作ができます。

- タップ：画面に軽く触れる
- ダブルタップ：画面に2度続けて軽く触れる
- タッチ：画面に長く触れる
- スワイプ：画面を軽くなぞる
- ドラッグ：画面をタッチしたままなぞって指を離す
- ピンチアウト：2本の指で画面をタッチし、タッチしたまま指の間を広げる
- ピンチイン：2本の指を開いて画面をタッチし、タッチしたままつまむように指を近づける

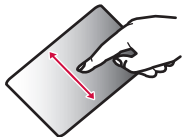
項目を開く

1 項目をタップする

チェックマークを付ける／外す

1 チェックボックスがある項目をタップする
   - チェックマークが付いていない場合、チェックマークが付きます。
   - チェックマークが付いている場合、チェックマークが外れます。

画面をスクロールする

画面を上下にスクロールできます。一部のウェブページでは、左右にスクロールすることも可能です。

ドラッグすると画面がスクロールします。

スワイプすると画面が高速でスクロールします。スクロール中にタッチすると、スクロールが停止します。

表示を拡大／縮小する

使用するアプリケーションによっては、画面の文字が小さくて見にくいとき、表示を拡大することができます。また、拡大した状態から全体表示とするため縮小することもできます。

ピンチアウトすると指の動きに合わせて画面が拡大表示されます。

- ピンチインすると指の動きに合わせて画面が縮小表示されます。
- ホーム画面でピンチインするとホーム画面の画面数を設定できます。

お知らせ

- 画面をドラッグすると が表示される場合があります。このズームコントロールアイコンをタップすることで画面表示の拡大／縮小をすることもできます。 をタップすると１段階拡大、 をタップすると１段階縮小されます。ただし、表示が最小または最大の場合は、 または がグレー表示となり、それ以上縮小または拡大することはできません。

モーションジェスチャーの使いかた

本体の動きやＧキーを押しての動作で簡単に操作できます。

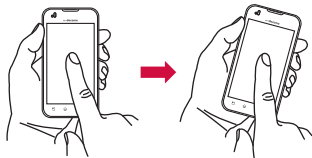
- モーションジェスチャーを使用するには、ホーム画面で ▶「設定」▶「ジェスチャー」▶「モーションジェスチャー」で各項目にチェックマークを付けてください。

ホーム画面でモーションジェスチャーを使用する

■ ホーム画面で左右の画面にアイコンを移動する

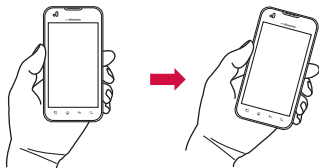
1 ホーム画面で、アイコンを１秒以上タッチする

2 FOMA端末を左または右に傾ける

- 左または右の画面の領域が表示されます。

3 アイコンを配置したい位置にドラッグして、指を離す

■ ホーム画面左または右の画面の領域を表示する

1 ホーム画面で、Gキーを押したままFOMA端末を左または右に傾ける

- 左または右の画面の領域が表示されます。

アラームでモーションジェスチャーを使用する

■ アラームを停止してスヌーズにする

1 アラーム動作中に、FOMA端末を裏返す

- アラームが停止してスヌーズになります。

ビデオプレイヤーでモーションジェスチャーを使用する

■ 動画再生中に一時停止する

1 動画再生中に、FOMA端末を裏返す

- 再生中の動画が一時停止します。

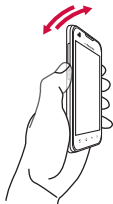
着信時にモーションジェスチャーを使用する

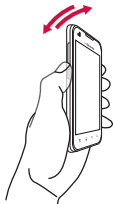
■ 着信音を消音にする

1 電話がかかってきたら、FOMA端末を裏返す

- 着信音が聞こえなくなります。

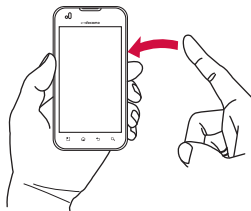
■ 電話を受ける

1 電話がかかってきたら、Gキーを押したままFOMA端末を振る

■ 通話を終了する

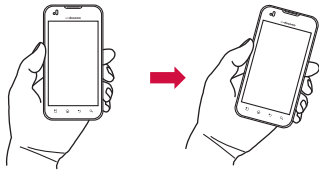
1 通話中に、Gキーを押したままFOMA端末を振る

ギャラリーでモーションジェスチャーを使用する

■ ギャラリーのイメージの表示を移動する

1 ギャラリーのイメージ表示中に、FOMA端末の左サイドまたは右サイドをタップする

- 左または右のイメージが表示されます。

■ ギャラリーのサムネイルリストの表示を移動する

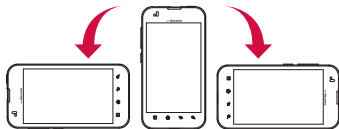
1 **ギャラリーのサムネイルリスト表示中に、Gキーを押したままFOMA端末を左または右に傾ける**

・サムネイルリストが左または右に移動します。

■ ギャラリーのイメージを拡大／縮小表示する

1 **ギャラリーのイメージ表示中に、Gキーを押す**

・イメージが拡大／縮小されます。

画面の表示方向を変更する

本FOMA端末を横向き／縦向きにすると、自動的に横画面表示／縦画面表示に切り替わります。

お知らせ

・表示方向が自動的に切り替わらないアプリケーションもあります。
・ホーム画面で ▶「設定」▶「表示」をタップし、「表示設定」画面で「縦横表示の自動回転」のチェックマークを外すと、本FOMA端末を横向き／縦向きにしても画面の表示方向が切り替わらないようにすることができます。

初期設定

初めて電源を入れたときの設定

本FOMA端末の電源を初めて入れたときは、FOMA端末で使用する言語や日時の設定が必要です。一度設定を行うと、次回以降、設定する必要はありません。また、ここでの設定は、後から変更できます。

- ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なります。
- 「スキップ」をタップすると該当の設定を省略できます。

1 電源キーを1秒以上押し続ける

2 「続ける」

3 言語を選択する

4 日付の設定をして、「次へ」

5 Wi-Fiが使用できないときにモバイルネットワークを使用するかの設定をする

6 Wi-Fiの設定をして、「次へ」

- 詳しくは「Wi-Fiを設定する」（P46）をご参照ください。

7 Googleアカウントの設定で、「次へ」

- 画面の指示に従ってログイン情報などを入力してください。
- 文字入力方法について、詳しくは「文字入力」（P71）をご参照ください。

8 「OK」

お知らせ

- 各設定画面で「終了する」をタップすると、以降の設定を省略します。
- オンラインサービスの設定は、データ接続可能な状態であること（3G ／ GPRS）が必要です。データ接続を可能とする方法については「無線とネットワーク」（P97）をご参照ください。

Wi-Fiを設定する

本FOMA端末は、Wi-Fiネットワークや公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続してインターネットなどを利用できます。
接続するには、アクセスポイントの接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

- 本FOMA端末の無線LAN対応機器とBluetooth機能とは同一周波数帯（2.4GHz）を使用しているため、Bluetooth機能の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。
  - 無線LAN対応機器とBluetoothデバイスは、10m以上離してください。
  - 10m以内で使用する場合は、無線LAN対応機器またはBluetoothデバイスの電源を切ってください。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただし、Wi-Fiネットワークに接続中は、Wi-Fiネットワークが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- Wi-Fiを使用しないときはOFFにすることで、電池の消費を抑制できます。

Wi-Fiネットワークのステータス

本FOMA端末がWi-Fiネットワークに接続されている場合、ステータスバーに が表示されます。また、ネットワーク検出通知が有効となっている場合、範囲内でセキュリティで保護されていないオープンネットワークが検出されると、常に がステータスバーに表示されます。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」

- 「ワイヤレスとネットワークの設定」画面が表示されます。

2 「Wi-Fi」にチェックマークを付ける

3 「Wi-Fi設定」

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

4 接続するWi-Fiネットワーク名をタップする

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続を試みると、そのWi-Fiネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。「パスワード」ボックスにネットワークのパスワードを入力して「接続」をタップしてください。
- 通常、パスワード入力時は、入力直後の文字だけが表示され、それ以前に入力した文字は、文字数分だけ「・」が表示されます。「パスワードを表示する」にチェックマークを付けると、入力した文字をすべて表示させることができます。

お知らせ

- 接続可能なネットワークは、オープンネットワークとセキュリティで保護されたネットワークの2種類があります。これは、Wi-Fiネットワーク名に （オープンネットワーク） （セキュリティで保護されたネットワーク）のように異なったアイコンで表示されます。
- また、アイコンの表示により電波の強度が表されます。

電波が強い場合	
電波が弱い場合	

- Wi-Fiネットワークを再度検索する場合は、ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」をタップし、 ▶「スキャン」をタップします。
- 接続可能なネットワークであっても、アクセスポイント側の設定によってはネットワーク接続名が表示されません。こうした場合でも、ネットワークに接続することは可能です。「Wi-Fiネットワークを追加する」（P49）をご参照ください。

- Wi-Fi接続する場合、接続に必要となる情報は、基本的にDHCPサーバーから自動的に取得されます。ただし、これらを個別に指定することもできます。
- Wi-FiのMACアドレス、IPアドレスは、ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」をタップし、 ▶「詳細設定」をタップして確認できます。

固定IPアドレスを指定してWi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

2 ▶「詳細設定」

3 「固定IPアドレスを使用する」にチェックマークを付ける

4 「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS 1」「DNS 2」をそれぞれ順にタップする

- それぞれを設定するメニューが表示されます。適切な値を設定してください。「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS 1」は必ず値を入力してください。

セキュリティで保護されていないWi-Fiネットワークを検出したら通知する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

2 「Wi-Fi」にチェックマークを付ける

3 「ネットワーク検出通知」にチェックマークを付ける

- セキュリティで保護されていないWi-Fiのオープンネットワークを検出したら自動的に通知します。

Wi-Fiネットワークを追加する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

2 「Wi-Fi」にチェックマークを付ける

3 「Wi-Fiネットワークの追加」

- 「Wi-Fiネットワークの追加」メニューが表示されます。

4 「ネットワークSSID」ボックスをタップし、ネットワークSSIDを入力する

5 「セキュリティ」

- 「セキュリティ」メニューが表示されます。「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」の4種類から適切なものを選択します。

6 「パスワード」ボックスをタップしてパスワードを入力する

- 「セキュリティ」を「なし」に設定している場合には、入力不要です。

7 「保存」

- Wi-Fiネットワークが追加されます。

Wi-Fiネットワークのパスワードを変更する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

2 Wi-Fiネットワーク名を1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

3 「ネットワーク設定を変更」

- 設定状況が表示されます。「パスワード」ボックスをタップし、新たなパスワードを入力します。

Wi-Fiネットワークから切断する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

2 切断するWi-Fiネットワーク名を1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

3 「ネットワークの切断」

- Wi-Fiネットワークから切断されます。

Wi-Fiをスリープに設定する

Wi-FiをスリープにしてFOMA端末のデータ通信に切り替えるタイミングを指定します。

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

2 ▶「詳細設定」

3 「Wi-Fiのスリープ設定」

- 「Wi-Fiのスリープ設定」メニューが表示されます。「画面がOFFになったとき」「電源接続時はスリープにしない」「スリープにしない」の3種類から選択します。

オンラインサービスアカウントを設定する

Google、Microsoft Exchange ActiveSyncなどのオンラインサービスで使用するアカウントを設定することで、本FOMA端末の情報を更新できます。また、サーバーの情報が更新された場合、自動的に同期するようにも設定できます。
さらに、不要なアカウントは削除することもできます。

オンラインサービスアカウントを追加する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「アカウントと同期」

- 「アカウントと同期の設定」画面が表示されます。

2 「アカウントを追加」

- 「アカウントを追加」画面が表示されます。

3 アカウントを設定するオンラインサービスをタップする

- 画面の指示に従ってログイン情報などを入力してください。
- アカウントの追加処理が終了すると、「アカウントを管理」グループに追加したオンラインサービスが表示されます。

お知らせ

- 「バックグラウンドデータ」にチェックマークを付けると、FOMA端末にインストールされているすべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行います。また、「自動同期」にチェックマークを付けると、アプリケーションが自動的にデータの同期を行います。これらの動作に伴い、パケット通信料がかかる場合があります。また、チェックマークを外している場合と比較すると電池が消耗します。

オンラインサービスのデータを手動で同期する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「アカウントと同期」

- 「アカウントと同期の設定」画面が表示されます。

2 同期するアカウントをタップする

- オンラインサービスの同期データリストが表示されます。
- チェックマークが付いている同期データが同期されます。

3 同期データにチェックマークを付ける

- チェックマークを付けたデータが同期されます。

オンラインサービスアカウントを削除する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「アカウントと同期」

- 「アカウントと同期の設定」画面が表示されます。

2 削除するアカウントをタップする

- 「データと同期」画面が表示されます。

3 「アカウントを削除」

- 「アカウントを削除」画面が表示されます。

4 「アカウントを削除」

- 該当のアカウントが削除されます。

お知らせ

- 最初に設定したGoogleアカウントは上記の操作では削除できません。最初に設定したGoogleアカウントを削除するには、ホーム画面で ▶「設定」▶「プライバシー」▶ 「データの初期化」でFOMA端末を初期化する必要があります。
- docomoアカウントは削除できません。

画面表示／アイコンの見かた

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーにはFOMA端末のステータスと通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側に本体のステータスアイコンが表示されます。

主なステータスアイコン

アイコン	説明
	電波レベル
	圏外
	Bluetooth機能ON
	Bluetoothデバイスに接続中
	国際ローミング中
	GPRS使用可能
	3G使用可能
	FOMAハイスピード／HSDPAネットワーク使用可能
	GPRSによる通信中
	3Gによる通信中
	FOMAハイスピード／HSDPAネットワーク通信中
	電池残量
	充電が必要
	充電中

	GPS有効
	GPS測位中
	フライトモード設定中
	ドコモUIMカードロック状態またはドコモUIMカード未挿入
	マイクがミュート状態
	マナーモード設定中（バイブレーションなし）
	マナーモード設定中（バイブレーションあり）
	アラーム設定中
	Wi-Fi接続中
	データ同期中

主な通知アイコン

	新着Gmailあり
	新着Emailあり
	新着メッセージ（SMS）あり
	メッセージ（SMS）の配信に問題あり
	新着Googleトークメッセージあり
	発信中または通話中
	通話保留中
	不在着信あり
	留守番電話あり
	カレンダーに設定された予定あり
	音楽を再生中
	オープンネットワーク（Wi-Fi）を検出
	ドコモUIMカードが未挿入
	USB接続中
	microSDカードが未挿入
	microSDカードに空き容量なし
	データアップロード中
	データダウンロード中／ データダウンロード完了

	ログインまたは同期に問題あり
	インストール済みアプリケーションのアップデートあり
	その他の通知あり
	VPN接続中／VPN未接続
	USBデバッグモード接続中
	ポータブルWi-Fiアクセスポイント使用可能

通知パネル

通知アイコンは通知パネルに表示されます。メッセージ、リマインダー、予定の通知などの通知を通知パネルから直接開くことができます。

通知パネルを開く

1 ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルが表示されます。通知パネル上部にはアイコンが表示され、オンの状態では青、オフの状態ではグレーで表示されます。

❶ **マナーモード**
マナーモードのオン／オフを切り替えます。1秒以上タッチすると、「音の設定」画面が表示されます。

❷ **Wi-Fi**
Wi-Fiのオン／オフを切り替えます。1秒以上タッチすると、「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

❸ **Bluetooth機能**
Bluetooth機能のオン／オフを切り替えます。1秒以上タッチすると、「Bluetooth設定」画面が表示されます。

❹ **GPS**
GPSのオン／オフを切り替えます。1秒以上タッチすると、「位置情報とセキュリティの設定」画面が表示されます。

❺ **モバイルネットワークの設定**
Wi-Fi使用ができない場合にモバイルネットワークに接続する／しないを設定します。1秒以上タッチすると、「モバイルネットワーク設定」画面が表示されます。

❻ **通知を消去**
通知情報と通知アイコンの表示を消去します。

❼ **通知情報**
通知情報の詳細を表示します。

通知内容の詳細を表示する

1 通知パネルの通知メッセージをタップする

- 最適なアプリケーションが開き、通知内容の詳細が表示されます。

通知パネルの表示を消去する

1 通知パネルの「通知を消去」をタップする

お知らせ

- 通知内容によっては通知を消去できない場合があります。

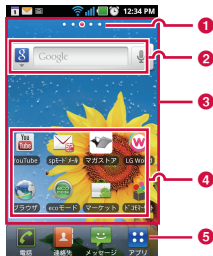
通知パネルを閉じる

1 パネルの下部を上にドラッグまたはスワイプする

お知らせ

- ⮌ をタップすることでも閉じることができます。

ホーム画面

ホーム画面ではアプリケーションのショートカットやウィジェットを追加／移動したり、壁紙を変えるなどカスタマイズできます。
ホーム画面には、ショートカットやウィジェットを追加するための画面が左右２画面ずつ用意されています。

❶ **拡張ホームの位置**
現在表示されているホーム画面の位置を表示しています。

❷ **ウィジェット（例：クイック検索ボックス）**
タップして、ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリケーション）の起動や操作を行います。

❸ **ユーザーカスタマイズ部**
ホーム画面のカスタマイズ画面で行ったカスタマイズが反映されます。配置したアプリケーションのショートカットやウィジェットを移動したり、削除したりできます。

❹ **ショートカット**
タップして、アプリケーションやFOMA端末の設定項目などを起動します。

❺ **■**
アプリケーション一覧画面が開きます。アプリケーション一覧画面では、「アプリ」と「ダウンロード」に分かれて表示されます。

ホーム画面を切り替える

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ホームセレクタ」
- ホームセレクタが開きます。

2 変更したいホームアプリケーションをタップする
- ホーム画面が切り替わります。

お知らせ

- お買い上げ時にプリインストールされているホームアプリケーションは､「ホーム」のみです。また、ホームアプリケーションをダウンロードすると、ホーム画面を切り替えることができます。
- 元のホーム画面に戻すには、ダウンロードしたホームアプリケーションの手順に従って、「ホームセレクタ」▶「ホーム」をタップしてください。
- 本書の操作説明は、ホームセレクタが「ホーム」に設定されていて、ホーム画面の内容が初期設定であることを前提に説明しています。ホーム画面をダウンロードしたホームアプリケーションに切り替えた場合や、ホーム画面の内容を変更した場合は、アプリケーションを開く操作などが本書の説明と異なることがあります。

左または右の画面の領域を表示する

1 ホーム画面を左または右にドラッグする
- 左または右の画面の領域が表示されます。

ホーム画面にウィジェットを追加する

1 ホーム画面を1秒以上タッチする
- 「ウィジェット」タブが表示されます。

ウィジェット	機能
Latitude	現在地表示ツール
YouTube	動画再生ツール
アナログ時計	アナログ時計
アプリケーションマネージャー	アプリケーションの実行状況管理ツール
おみせメモツール	近くのおみせメモツール
カレンダー	カレンダー
ニュースと天気	ニュースと天気予報表示ツール

ウィジェット	機能
ホーム画面のヒント	操作のヒント表示ツール
マーケット	Androidマーケット
ミュージック	音楽再生ツール
検索	検索ツール
電源管理	電源管理ツール

2 追加するウィジェットをタップする

- 追加するウィジェットを1秒以上タッチしてユーザーカスタマイズ部にドラッグし、移動先で指を離すことで、任意の位置にウィジェットを配置することもできます。
- ホーム画面にウィジェットが追加されます。

ホーム画面にショートカットを追加する

1 ホーム画面を1秒以上タッチする

2 「ショートカット」

3 追加するショートカットの種類をタップする

4 追加するショートカットをタップする

- ホーム画面にショートカットアイコンが追加されます。
- ショートカットによっては追加する項目を設定する必要があります。各画面の指示に従って設定してください。

ホーム画面にフォルダーを作成する

1 ホーム画面を1秒以上タッチする

2 「フォルダー」

3 追加するフォルダーをタップする

- ホーム画面にフォルダーが追加されます。

フォルダーにショートカットを追加する

1 ホーム画面で、フォルダーに追加するショートカットアイコンを１秒以上タッチする

2 そのままフォルダーにドラッグして指を離す

3 フォルダーをタップする

- フォルダーのウィンドウが開き、ショートカットアイコンがフォルダーに追加されたことを確認できます。

フォルダーの名前を変更する

1 名前を変更するフォルダーをタップする

- フォルダーのウィンドウが開きます。

2 タイトルバーを１秒以上タッチする

- 「フォルダー名を変更」メニューが表示されます。

3 フォルダー名を入力して「OK」

- フォルダーの名前が変更されます。

ショートカットアイコンを移動する

1 ホーム画面で、移動するショートカットアイコンを１秒以上タッチする

2 そのままドラッグし、移動先で指を離す

- ショートカットアイコンが移動されます。

お知らせ

- 右または左の画面の端にドラッグすると、別のホーム画面の領域に移動することもできます。

壁紙を変更する

1 ホーム画面を1秒以上タッチする

2 「壁紙」

3 「壁紙」または壁紙をタップする

- 「壁紙」▶「ギャラリー」をタップした場合は、壁紙として使用する画像をタップして選択してください。続けて、画面に表示された枠をドラッグすることで壁紙として使用する部分を選択し、「保存」をタップしてください。
- 「壁紙」▶「ライブ壁紙」をタップした場合は、ライブ壁紙の一覧が表示されます。いずれかのライブ壁紙をタップして選択した後、「壁紙に設定」をタップしてください。壁紙の種類によっては、「設定...」をタップすると、ライブ壁紙の設定を行うことができます。

ホーム画面のアイコンを削除する

1 ホーム画面で、ショートカットアイコン、またはウィジェットを1秒以上タッチする

2 そのまま「削除」に移動して指を離す

- ホーム画面から削除されます。

検索する

「検索」ウィジェットを利用すると、FOMA端末内の連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを対象として検索できます。
なお、検索データの種類、検索範囲を変更することもできます。

文字を入力して検索する

1 ホーム画面で検索ウィジェットの検索ボックスをタップする

- クイック検索ボックスが表示されます。

2 検索する文字を入力

- 文字の入力に従って、検索候補、FOMA端末内の検索結果、または以前に選択した検索結果がリスト表示されます。

3 リストのいずれかをタップする

- 最適なアプリケーションで内容を表示します。

お知らせ

- 目的の検索結果がない場合は、➔をタップするとウェブページが検索できます。

音声で検索する

1 **ホーム画面で検索ウィジェットの 🎤 をタップする**

2 **「お話しください」と表示されたら、マイクに向かって検索語をはっきりと発音する**

- 音声が文字に変換され、検索語を含む情報が「もしかして...」リスト表示されます。
- 検索語の候補が複数ない場合は、リストは表示されず、検索ボックスに検索語が入ったGoogleホームページが開きます。
- 音声が認識されなかった場合は、「該当なし」画面で「やり直す」をタップしてください。

3 **リストのいずれかをタップする**

- 検索ボックスに検索語が入ったGoogleホームページが開きます。

お知らせ

- 正しく変換されない場合は、改めて 🎤 をタップして音声入力するか、文字を入力して検索してください。

検索の設定を行う

1 **ホーム画面で検索ウィジェットの検索ボックスをタップする**

2 **▶「検索設定」**

- 「検索設定」画面が表示されます。

3 **必要に応じて設定を変更する**

ウェブ		
Google検索の設定	入力候補の表示	入力時にGoogleの検索候補を表示する／しないを設定します。
	Googleと共有する	検索やサービスの品質向上にGoogleが位置情報を使用することを許可する／しないを設定します。
	検索履歴	カスタマイズされた検索履歴を表示する／しないを設定します。
	検索履歴の管理	Googleアカウント用にカスタマイズした検索履歴を管理する／しないを設定します。

電話		
検索対象	ウェブ	ウェブ検索、ブックマーク、ブラウザ履歴を検索の対象に設定します。
	アプリ	インストールされているアプリケーション名を検索の対象に設定します。
	ミュージック	アーティスト、アルバム、トラックを検索の対象に設定します。
	メッセージ	メッセージ内のテキストを検索の対象に設定します。
	連絡先	連絡先の名前を検索の対象に設定します。
	音声検索	音声検索履歴を検索の対象に設定します。
ショートカットを消去	最近選択した検索候補へのショートカットを消去します。	

アプリケーション画面

アプリケーション画面には、本FOMA端末にインストールされているすべてのアプリケーションのアイコンが表示され、タップすることでアプリケーションを開くことができます。

アプリケーション画面からアプリケーションを開く

1 ホーム画面で「アプリ」

2 アイコンをタップする

- タップしたアイコンのアプリケーションが開きます。

お知らせ

- アプリケーション画面でカテゴリーのタイトルバーをタップすると、カテゴリーに含まれるアイコンが非表示になります。アイコンを非表示にしたカテゴリーのタイトルバーをタップすると、アイコンが再表示されます。

アプリケーション画面のレイアウトを変更する

アプリケーション画面は、カテゴリー、ページ、リストの3種類のレイアウトで表示できます。

1 ホーム画面で「アプリ」

2 ▶「レイアウト」

3 「カテゴリー」／「ページ」／「リスト」のいずれかをタップする

アプリケーション一覧

	BeeTV	BeeTVは、ケータイ専用の放送局です。有料会員登録を行うと、BeeTV内の全番組を視聴できます。
	BookLive! for LG	オンラインの電子書籍サイト「BookLive」にアクセスして電子書籍を購入、閲覧することができます。(P170)
	BOOKストア 2Dfacto	本格的な文芸書、人気のコミック、話題のビジネス書など、数多くのジャンルの電子書籍を購入、閲覧できる電子書籍ストアです。
	DecoMarket	デコメール®で送受信できる絵文字・ピクチャ・テンプレートなどのデコメール®素材を購入することができます。(P155)

	ecoモード	電池の消費を抑えるecoモードを利用できます。 電池残量に応じて自動でONにしたり、ウィジェットから簡単に設定を変更したりできます。
	Evernote	EvernoteはWebサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、様々な情報をサーバーに保存し、必要なときに検索・閲覧できるサービスです。 情報の保存や閲覧はFOMA端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。 • 本アプリケーションのご利用には、Evernoteアカウントの作成が必要です。
	Gmail	Googleアカウントのメールの送受信ができます。（P118）
	GREE	友達のブログにコメントしたり、自分の趣味のコミュニティーに参加したり、またたくさんの無料ゲームも楽しめます。（P169）
	Gガイド番組表	地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できるアプリです。 キーワードやジャンルによる番組検索も可能です。
	iチャネル	天気やニュースなど様々な情報を配信します。自動的に受信した最新の情報が待受画面のウィジェット上に表示されます。 iチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。
	Latitude	地図上で友だちと位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。また、メールを送ったり、友だちの現在地への経路が検索できます。（P163）

	LG World	多様なアプリケーションとドラマおよびバラエティ番組などの動画コンテンツをご利用いただけます。(P172)
	Polaris Office	様々な文書フォーマットを簡単に読んだり、編集したりできます。(P173)
	spモードメール	iモードのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。(P117)
	Twonky Mobile Special	スマートフォン内やインターネット上の動画·写真·音楽を、DLNA対応のTVやオーディオにワイヤレス再生することができます。インターネット上のコンテンツをご利用になる場合には、インターネットへ接続可能なアクセスポイントが必要です。

	YouTube	YouTubeの動画を再生したり、撮影した動画をYouTubeにアップロードすることができます。(P172)
	アプリケーションマネージャー	アプリケーションの実行状況を確認したり、停止したりすることができます。(P178)
	アラーム／時計	時刻や天気予報の表示、アラームの設定ができます。(P165)
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです。(P120)
	カメラ	静止画（写真）および動画を撮影できます。(P125)
	カレンダー	カレンダーを表示したり、スケジュールを管理したりできます。(P166)

	ギャラリー	静止画（写真）および動画を閲覧できます。（P130）
	ダウンロード	ダウンロードしたデータを確認、表示、または再生できます。（P177）
	トーク	Googleアカウントを所有する友だちとチャット（文字によるおしゃべり）ができます。（P124）
	ドコモマーケット	iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。
	ドコモ海外利用	海外でのパケット通信の利用や海外パケット定額サービスの設定・確認をサポートします。
	トルカ	店舗情報やクーポン券などのトルカを表示、検索、更新ができます。（P174）

	ナビ	目的地までの経路の案内を音声ガイダンスでできます。（P164）
	ニュースと天気	最新のニュースや現在地の天気予報などを表示できます。（P174）
	バックアップと復元	通話履歴、連絡先、カレンダー（スケジュール）などをmicroSDカードにバックアップできます。（P179）
	ビデオプレイヤー	microSDカードに保存されている動画を再生できます。（P139）
	ブラウザ	ウェブページが閲覧できます。（P121）
	プレイス	現在地の近くのレストランや、カフェ、居酒屋、観光スポット、ATM、ガソリンスタンドなどを簡単に探すことができます。（P164）

	ホームセレクタ	ダウンロードしたホームアプリケーションにホーム画面を切り替えできます。（P57）
	マーケット	Androidマーケットを利用して、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスして、FOMA端末にダウンロード、インストールすることができます。（P150）
	マガストア	オンラインの電子雑誌販売サイト「MAGASTORE」にアクセスして、雑誌データを購入することができます。（P171）
	マクドナルド	マクドナルドの会員向けクーポンや店舗検索機能が使えるアプリです。
	マップ	現在地の表示、別の場所の検索、および経路の検索ができます。（P156）
	ミュージック	microSDカードに保存されている音楽を再生できます。（P132）

	メール	パソコンと同様にメールの送受信ができます。（P115）
	メッセージ	SMSの送受信ができます。（P119）
	メロディコール	電話をかけてきた相手にお好みのメロディを聴かせるサービスです。メロディコールの楽曲試聴、購入、設定ができます。 メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです。
	音声検索	音声で入力して検索できます。（P61）
	楽天オークション	楽天オークションに出品されている、人気のファッションアイテムなどが簡単に検索できます。
	検索	FOMA端末内の連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを対象として検索できます。（P60）

	取扱説明書	本FOMA端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。(P1)
	書籍・コミックE★エブリスタ	プロ作家・有名人のオリジナル作品から一般ユーザの人気投稿作品まで、話題の電子書籍・コミックが閲覧できます。 プロ作家・有名人の作品閲覧は有料です。
	声の宅配便	声の宅配便は、音声電話でメッセージを録音し、録音されたことを相手にSMSで通知するサービスです。本アプリを利用することで、簡単に声のメッセージを録音、再生することができます。
	設定	各種設定を行うことができます。(P96)
	地図アプリ	ドコモ地図ナビが提供する地図・ナビ・乗換などの機能で、お出かけをサポートするアプリです。トライアル期間は無料で利用可能です。
	電子辞典	英和、和英、国語辞典で単語の意味を検索したり、検索結果を単語帳に登録したりできます。(P175)
	電卓	四則演算などができます。(P169)
	電話	通話をかけたり、受けたりできます。(P76)
	電話帳コピーツール	microSDカードを利用して、他のFOMA端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。(P85)

	電話帳バックアップ	電話帳データを電話帳バックアップセンターに自動で定期的にバックアップすることができ、FOMA端末の紛失時や誤って削除した際などにリストアできるサービスです。 ※ 電話帳バックアップの詳細については、「ご利用ガイドブック（spモード編）」をご覧ください。
	連絡先	連絡先（電話帳）を登録したり、登録した連絡先から簡単に電話やメールをしたりできます。（P82）

お知らせ

- このアプリケーション一覧は、お買い上げ時にプリインストールされているものです。
- ソフトウェア更新を行うと、アプリケーションの内容やアイコンの位置が変わることがあります。
- アプリケーションによっては、アイコンの下に名前が最後まで表示されない場合があります。

カテゴリーを管理する

アプリケーション画面でカテゴリーの管理を行って、アイコンを整理することができます

カテゴリーを追加する

1. **ホーム画面で「アプリ」**
2. **▶「カテゴリー管理」**
3. **「追加」**
4. **カテゴリー名を入力して「保存」**
   - アプリケーション画面にカテゴリーが追加されます。

カテゴリー名を変更する

1. **ホーム画面で「アプリ」**
2. **▶「カテゴリー管理」**
3. **カテゴリーをタップする**
4. **カテゴリー名を入力して「保存」**
   - カテゴリー名が変更されます。

お知らせ

- お買い上げ時に用意されているカテゴリーについては、名称変更できません。

カテゴリーを移動する

1 ホーム画面で「アプリ」

2 ▶「カテゴリー管理」

3 カテゴリーの をタッチしてドラッグする

- カテゴリーの位置が移動されます。

カテゴリーを削除する

1 ホーム画面で「アプリ」

2 ▶「カテゴリー管理」

3 「削除」

4 削除するカテゴリーにチェックマークを付ける

5 「削除」▶「OK」

- カテゴリーが削除されます。

お知らせ

- お買い上げ時に用意されているカテゴリーについては、削除できません。

アプリケーションを管理する

アプリケーション画面でアプリケーションの管理を行うことができます。

アプリケーションを移動する

1 ホーム画面で「アプリ」

2 ▶「アプリ管理」

3 アプリケーションを1秒以上タッチする

4 そのままドラッグし、移動先で指を離す

- アプリケーションが移動されます。

アプリケーションを削除する

1 ホーム画面で「アプリ」

2 ▶「アプリ管理」

3 アプリケーションをタップする

- 「アンインストール」画面が表示されます。

4 「OK」

- アプリケーションが削除されます。

お知らせ

- お買い上げ時に用意されているアプリケーションについては、削除できません。

文字入力

本FOMA端末では、タッチスクリーンに表示されるソフトウェアキーボードで文字を入力することができます。

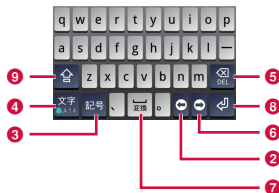
ソフトウェアキーボードでの文字入力

画面上のテキストボックスをタップすると、タッチスクリーンにソフトウェアキーボードが表示されます。
本FOMA端末の日本語入力では、テンキーとフルキーの2種類のソフトウェアキーボードを切り替えて使用できます。
キーアイコンをタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えができます。

■ テンキーソフトウェアキーボード

日本語を「かな入力」で入力する場合に使用します。

■ フルキーソフトウェアキーボード

日本語を「ローマ字入力」で入力する場合に使用します。

❶ **逆順／Undoキー**

1つ前の文字を表示（逆順）します。「Undo」と表示されているときは、1つ前の操作を取り消します。

❷ **左カーソルキー**

左へカーソルを移動します。1秒以上タッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を狭めます。

❸ **記号キー**

記号／顔文字リストを表示します。

❹ **文字種切替／設定キー**

入力（文字種）を切り替えます。1秒以上タッチすることで「iWnn IMEメニュー」を表示します。

❺ **削除キー**

カーソル位置の左の文字を削除します。1秒以上タッチすることで連続して削除できます。

❻ **右カーソルキー**
右へカーソルを移動します。1秒以上タッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を広げます。また、未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、予測変換の対象文字数を増やします。

❼ **スペース／変換キー**
スペースを入力します。変換時は連文節変換を行います。

❽ **実行キー／エンターキー**
入力文字／変換文字を確定します。すでに入力文字／変換文字が確定されている場合には、入力したテキストボックスの機能を実行します。

❾ **シフトキー**
大文字キーと小文字キーを切り替えます。

お知らせ

- ここではiWnn IME（日本語キーボード）のソフトウェアキーボードについて説明しています。キー表示は入力画面や文字種により変わります。
- ソフトウェアキーボードの種類を切り替える方法については、「キーボードを切り替える」（P72）をご参照ください。
- キーボードが不要な場合は、⮌ をタップすることで閉じることができます。再び表示するには、画面上のテキストボックスをタップしてください。

文字入力には8つのモードがあり、現在のモードはステータスバーのアイコンで確認できます。

アイコン	モード	アイコン	モード
あ	ひらがな漢字	AB	半角英字
カ	全角カタカナ	1	全角数字
ｶﾅ	半角カタカナ	12	半角数字
A	全角英字	🎤	音声入力

キーボードを切り替える

1 **ソフトウェアキーボードで 文字 を1秒以上タッチする**

- 「iWnn IMEメニュー」が表示されます。

2 **「テンキー⇔フルキー」**

- キーボードが切り替わります。

文字種を切り替える

文字入力画面で 文字 をタップするたびに、「ひらがな漢字」▶「半角英字」▶「半角数字」の順に文字種が切り替わります。また、「キーボード設定（共通）」で「音声入力」にチェックマークを付けると、声で入力することもできます。

文字 を1秒以上タッチすると「iWnn IMEメニュー」が表示され、「入力モード切替」をタップすると入力モードを切り替えることができます。

お知らせ

- 文字入力画面によっては、特定の文字種のみに限定されたり、選択できる文字種が制限される場合があります。

記号／顔文字を入力する

文字入力画面で 記号 をタップすると、記号／顔文字入力モードになりディスプレイに記号または顔文字の候補が表示されます。

「記号」をタップすると記号、「顔文字」をタップすると顔文字の入力候補が表示されます。入力候補をタップすると、記号または顔文字が入力できます。

「戻る」をタップすると、記号または顔文字入力前のソフトウェアキーボードが表示されます。

文字入力の設定を変更する

文字入力画面で 文字 を1秒以上タッチすると「iWnn IMEメニュー」が表示されます。ここで「各種設定」をタップすると、文字入力に関する設定が変更できます。

キーボード設定（共通）	
キー操作音	チェックマークを付けると、キーボード操作に伴って音が鳴ります。
キー操作バイブ	チェックマークを付けると、キーボード操作に伴ってバイブレータが動作します。
キーポップアップ	チェックマークを付けると、入力時に選択した文字を拡大して表示します。
自動大文字変換	チェックマークを付けると、英字入力の際、文頭文字を自動的に大文字にします。
キーボードタイプ	画面の向き、入力モードごとに使用するキーボードのタイプを設定できます。
キーボードイメージ	キーボードのデザインを設定できます。
音声入力	チェックマークを付けると、音声入力が可能になり、文字入力モードに音声入力が追加されます。

キーボード設定（テンキー）	
フリック入力	チェックマークを付けると、テンキーソフトウェアキーボードでの入力方法がフリック入力になります。チェックマークを外すとトグル入力になります。
フリック感度	「フリック入力」にチェックマークが付いている場合、タップすると「フリック感度（低⇔高）」メニューが表示され、スライドバーにより感度の設定を行えます。
トグル入力	「フリック入力」にチェックマークが付いている場合、チェックマークを付けるとフリック入力と同時にトグル入力が可能になります。
自動カーソル移動	自動カーソル移動の速度を指定します。

変換設定	
候補学習	チェックマークを付けると、変換で確定した語句をiWnn IMEが学習します。
予測変換	チェックマークを付けると、予測変換候補を表示します。
入力ミス補正	チェックマークを付けると、入力間違いの修正候補を表示します。
ワイルドカード予測	チェックマークを付けると、読みの文字数から変換候補を推測して表示します。
候補表示行数	変換候補を表示する行数を縦画面と横画面についてそれぞれ設定できます。

外部アプリ連携	
マッシュルーム	マッシュルーム拡張を使用するかどうかを設定できます。
辞書	
日本語ユーザー辞書	タップすると「日本語ユーザー辞書 単語一覧」画面が表示されます。 をタップすると、単語の登録、編集、削除、日本語ユーザー辞書の全消去を行うことができます。
英語ユーザー辞書	タップすると「英語ユーザー辞書 単語一覧」画面が表示されます。 をタップすると、単語の登録、編集、削除、英語ユーザー辞書の全消去を行うことができます。
学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて消去します。
IMEについて	
iWnn IME	iWnn IMEバージョン情報などが表示されています。

電話／ネットワークサービス

電話をかける／受ける

電話をかける

本FOMA端末では、一般的な通話のほか国際電話、緊急電話をかけることもできます。また、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用するためポーズを入力することもできます。

電話をかける

1 ホーム画面で「電話」

- 「電話」タブが表示されます。

2 電話番号を入力 ▶ [発信]

- 電話番号の入力を誤った場合は、[削除] をタップすることで消去できます。

ポーズを入力する

1 ホーム画面で「電話」

- 「電話」タブが表示されます。

2 電話番号を入力し、[メニュー] ▶「2秒間の停止を追加」

- 電話番号の後ろに「,」（カンマ）が表示されます。

3 利用するサービスのメニュー番号などを入力 ▶ [発信]

通話を終了する

1 通話中に「終了」

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内では、ドコモUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面およびPINロック解除コード入力画面からは緊急通報110番／119番／118番に発信できません。PINコードについて詳しくは「暗証番号とドコモUIMカードの保護について」（P106）をご参照ください。

国際電話を利用する（WORLD CALL）

WORLD CALLは国内でドコモのFOMA端末からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせてWORLD CALLもご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 世界約240の国・地域にかけられます。
  海外の一般電話や携帯電話と電話がご利用できます。
- 接続可能な国および海外通信事業者などの情報については、「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- WORLD CALLの料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- WORLD CALLの詳細については、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときには、各国際電話サービス会社にお問い合わせください。
- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

一般電話へかける場合

1 **ホーム画面で「電話」**

- 「電話」タブが表示されます。

2 **「010」▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番）▶ 相手先電話番号の順に入力して**

携帯電話へかける場合

1 **ホーム画面で「電話」**

- 「電話」タブが表示されます。

2 **「010」▶ 国番号 ▶ 相手先携帯電話番号の順に入力して**

お知らせ

- 相手先の携帯電話番号、地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- 「010」のかわりに「+」（「+」は「0」を1秒以上タッチします）や従来どおりの「009130-010」でもかけられます。
- WORLD CALLについて詳しくは、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

電話を受ける

着信すると着信音が鳴ります。マナーモードでは着信音が鳴りません。バイブレータを設定していれば、バイブレータが動作します。

電話を受ける

1 **電話がかかってきたら を右にドラッグ**

- 通話できます。

お知らせ

- 連絡先に登録されている相手からの電話の場合、名前、電話番号が表示されます。連絡先に登録されていない相手の場合には、電話番号のみ表示されます。

着信を拒否する

1 **電話がかかってきたら を左にドラッグ**

- 着信が拒否されます。

着信音を消音にする

1 **着信中に音量キー（上）／音量キー（下）を押す**

- 着信音が聞こえなくなります。

通話中の操作

通話中には利用状況に応じて音量を調整したり、スピーカーやマイクのオン／オフ、保留などの操作ができます。

通話音量を調整する

通話中に相手の声の音量を調整できます。

1 音量キー（上）／音量キー（下）を押す

- 操作に応じて、通話音量が変わります。

通話中オプションを利用する

通話中に相手の音声をスピーカーで聞こえるようにしたり、一時的にマイクを無効にしたりできます。

スピーカーをオンにする／オフにする

1 通話中に「スピーカー」

- スピーカーから通話相手の音声が聞こえます。

2 スピーカーがオンの状態で「スピーカー」

- スピーカーから通話相手の音声が聞こえなくなります。

お知らせ

- スピーカーがオンになっている状態で本FOMA端末を耳に当てないでください。
- FOMA端末に向かって50cm以内の距離でお話しください。音が割れて聞き取りにくい場合は、スピーカーをオフにしてください。

マイクをオフにする／オンにする

1 通話中に「ミュート」

- 通話相手に音声が聞こえなくなります。

2 マイクがオフになっている状態で「ミュート」

- 再び通話相手に音声が聞こえるようになります。

通話を保留する

1 通話中に「保留」

- 通話を保留します。

2 保留になっている状態で「保留解除」

- 保留が解除され、通話を再開します。

お知らせ

- 通話を保留するにはキャッチホン（P91）のご契約が必要です。

通話履歴

着信や発信の履歴は自動的に記録されます。また、この履歴を利用して電話をかけたり、連絡先に電話番号を登録することもできます。

不在着信の相手に電話をかける

不在時に着信があった場合は、ステータスバーから不在着信の通知を確認できます。

1 ステータスバーに が表示されている状態でステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルに不在着信の通知が表示されます。不在着信の通知には、相手の電話番号または連絡先に登録されている名前と、不在着信の時刻または日付が表示されます。

2 不在着信の通知をタップする

- 「通話履歴」タブが表示されます。
- 不在着信の履歴には、 が表示されます。

3 不在着信の履歴の右にある をタップする

- 呼び出しが行われます。

通話履歴を利用して電話をかける

通話履歴に記録された電話番号に電話がかけられます。

1 ホーム画面で「電話」▶「通話履歴」タブ

- 「通話履歴」タブが表示されます。

2 相手の名前または電話番号の右にある をタップする

- 呼び出しが行われます。

お知らせ

- 「通話履歴」タブでいずれかの名前または電話番号を1秒以上タッチすることで、メニューが表示されます。そこで、「～に発信」をタップすることで電話をかけることもできます。

通話履歴の電話番号を連絡先に登録する

通話履歴の中で、連絡先として登録されていないものを登録できます。

1 「通話履歴」タブで電話番号を1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

2 「連絡先に追加」

- 連絡先画面が表示されます。

3 電話番号を追加する連絡先または「連絡先を新規登録」

- 「連絡先を新規登録」を選択すると、「アカウントに連絡先を作成」画面が表示され、アカウントを選択します。

4 情報を入力して「保存」

- 連絡先として登録されます。

通話履歴を消去する

通話履歴は自動的に追加されますが、任意の履歴またはすべての履歴を消去できます。

任意の通話履歴を消去する

1 「通話履歴」タブで電話番号を1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

2 「通話履歴から消去」

- 該当の通話履歴が消去されます。

すべての通話履歴を消去する

1 「通話履歴」タブで ▶「通話履歴を全件消去」▶「OK」

- すべての通話履歴が消去されます。

連絡先

連絡先には、電話番号、Eメールアドレス、インターネット上の各種サービスのアカウントなど連絡先に関わる情報が入力できます。

連絡先を表示する

連絡先に登録されている情報が表示できます。

1 ホーム画面で「連絡先」
- 「連絡先」タブが表示されます。
- 「お気に入り」タブが表示された場合は、「連絡先」をタップしてください。

お知らせ

- 「連絡先」タブを表示すると、画面右側にかな／アルファベット順のインデックスが表示され、これをドラッグすることですばやく検索できます。また、検索文字を指定して検索することもできます。検索操作について詳しくは、「連絡先を検索する」（P83）をご参照ください。
- 初めて連絡先を開いたときは、連絡先を追加するための説明が表示されます。▶「インポート／エクスポート」と操作することで、ドコモUIMカード、microSDカードからインポートまたエクスポートをすることができます。

連絡先を登録する

新たに連絡先を登録できます。

1 「連絡先」タブまたは「お気に入り」タブで ▶「連絡先を新規登録」
- 「アカウントに連絡先を作成」画面でアカウントを選択します。

2 情報を入力して「保存」
- 入力した内容が登録されます。

連絡先を編集する

すでに登録されている連絡先が編集できます。

1 「連絡先」タブで編集する連絡先を1秒以上タッチする
- メニューが表示されます。

2 「連絡先を編集」
- すでに登録されている情報が入力された状態で連絡先編集画面が表示されます。

3 情報の追加、削除、修正を行い「保存」
- 連絡先が更新されます。

連絡先を検索する

「連絡先」タブでは、ドラッグして連絡先を検索するほか検索文字を指定して検索することもできます。

1 「連絡先」タブで 🔍

2 検索する文字を入力する

- 文字の入力に従って、検索候補、FOMA端末内の検索結果、または以前に選択した検索結果がリスト表示されます。

3 いずれかの連絡先をタップする

- 連絡先の情報が表示されます。

連絡先を利用して電話をかける／メールを送る／チャットする

連絡先の情報を利用して電話をかけることができます。また、連絡先にメールアドレスやチャットなどのアカウントが登録されている場合、メールを送ったり、チャットアプリケーションを起動して、チャットすることもできます。

1 「連絡先」タブでいずれかの連絡先をタップする

- 連絡先の情報が表示されます。

2 のいずれかをタップする

- 電話をかけたり、メールやチャットができます。

	電話をかけます。
	メッセージ（SMS）を送ります。
	メールを送ります。
	チャットを開始します。

お知らせ

- 連絡先を１秒以上タッチするとメニューが表示されます。そこで「連絡先に発信」をタップすると電話がかけられ、「連絡先にＳＭＳを送信」をタップするとメッセージ（SMS）が送信できます。

連絡先住所の地図を表示する

連絡先として住所が登録されている場合、その場所を地図に表示できます。

1 「連絡先」タブでいずれかの連絡先をタップする
- 連絡先の情報が表示されます。

2 「～の住所を表示」
- 「マップ」アプリケーションに切り替わり、住所として設定されている場所が表示されます。

連絡先を削除する

1 「連絡先」タブでいずれかの連絡先をタップする
- 連絡先の情報が表示されます。

2 ▶「連絡先を削除」
- 確認メッセージが表示されます。

3 「OK」
- 連絡先が削除されます。

お知らせ

- 「連絡先」タブでいずれかの連絡先を1秒以上タッチすることでメニューを表示し「連絡先を削除」をタップすることでも連絡先を削除できます。

連絡先を共有する

本FOMA端末に記録されている連絡先を他のアプリケーションでも共有することができます。

1 「連絡先」タブでいずれかの連絡先をタップする
- 連絡先の情報が表示されます。

2 ▶「共有」
- 共有するアプリケーションの選択メニューが表示されます。

3 いずれかのアプリケーションをタップする
- 選択したアプリケーションに応じて画面が表示されます。画面表示に従って操作してください。

連絡先をお気に入りに追加する

連絡先をお気に入りに追加すると、「お気に入り」タブに表示されます。「お気に入り」タブを使用すると、特定の連絡先をすばやく表示して利用できます。

1 「連絡先」タブでお気に入りに登録する連絡先を1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

2 「お気に入りに追加」

- 連絡先が「お気に入り」タブに追加されます。

お知らせ

- お気に入りに追加した連絡先の情報を表示すると、画面の右上の星型アイコンが黄色で表示されます。
- 黄色の星型アイコンをタップすると灰色になります。
  - 通話履歴がある場合、連絡先が「お気に入り」タブの「よく使う連絡先」に表示されます。
  - 通話履歴がない場合、連絡先が「お気に入り」タブから削除されます。
- 灰色の星型アイコンをタップすると黄色になり、連絡先が「お気に入り」タブの「お気に入り」に表示されます。

電話帳コピーツールを利用する

microSDカードを利用して、他のFOMA端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

電話帳コピーツールを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「電話帳コピーツール」

- はじめてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

電話帳をmicroSDカードにエクスポートする

1 microSDカードをFOMA端末に取り付ける

2 「エクスポート」タブ画面で「開始」

- docomoアカウントに保存されている電話帳データがmicroSDカードに保存されます。

3 「OK」

電話帳をmicroSDカードからインポートする

1 **電話帳データが保存されたmicroSDカードをFOMA端末に取り付ける**

2 **「インポート」タブ画面でインポートしたいファイルをタップする ▶「上書き」/「追加」**

- インポートした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

3 **「OK」**

Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 **「docomoアカウントへコピー」タブ画面でコピーしたいGoogleアカウントをタップする ▶「上書き」/「追加」**

- コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

2 **「OK」**

お知らせ

- 他のFOMA端末の電話帳項目名(電話番号など)が本FOMA端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字はFOMA端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- グループ情報がインポートできません。
- 連絡先(電話帳)をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 連絡先(電話帳)をmicroSDカードからインポートする場合は、「バックアップと復元」(P179)で作成したファイルは読み込むことができません。
- 電話帳コピーツールで作成(エクスポート)した電話帳を電話帳コピーツール以外でご利用される場合、正しく表示されないことがあります。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

本FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスがご利用いただけます。各サービスの概要やご利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。

サービス名	月額使用料	お申し込み	参照先
留守番電話サービス	有料	必要	P88
キャッチホン	有料	必要	P91
転送でんわサービス	無料	必要	P92
発信者番号通知サービス	無料	不要	P94

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- ネットワークサービスについて詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- ネットワークサービスのお申し込み、お問い合わせについては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本書では各ネットワークサービスの概要をFOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明します。
- サービス停止とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

お知らせ

- 伝言メッセージは1件あたり最長3分間、20件まで録音でき、72時間保存されます。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記録され、ステータスバーの通知アイコンに が表示されます。
- 本FOMA端末にはFOMA端末内に伝言メッセージを保存する伝言メモの機能はありません。留守番電話サービスをご利用ください。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始する

お客様のFOMA 端末に電話がかかる

▼

電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

相手が伝言メッセージを録音する

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることが通知される

伝言メッセージを再生する

留守番電話サービスを設定する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「通話設定」▶「留守番電話サービス」

- 「留守番電話サービス」画面が表示されます。以下の操作が行えます。

項目	説明
開始	「OK」をタップすると、留守番電話サービスを開始します。
呼出時間	呼出時間を0～120（秒）で入力します。 呼出時間を「0」とした場合には、着信履歴に記録されません。
停止	留守番電話サービス設定時に「OK」をタップすると、留守番電話サービスが停止します。
設定確認	留守番電話サービスの設定状況が表示されます。
メッセージ再生	「OK」をタップすると、留守番電話サービスセンターに接続されます。ガイダンスに従い操作することで伝言メッセージが再生されます。
設定	「OK」をタップすると、留守番電話サービスセンターに接続されます。ガイダンスに従い操作することで留守番電話の設定を変更します。
メッセージ問合せ	留守番電話の伝言メッセージがあるかどうか確認します。問い合わせ後、問い合わせが完了したことを通知するメッセージが表示されます。
件数増加鳴動設定	「件数増加鳴動設定」画面が表示されます。「サウンド」「バイブレータ」にチェックマークを付けると、伝言メッセージをお預かりしたときに、音／バイブレータのいずれか、または両方で伝言メッセージの到着をお知らせします。

着信通知	「着信通知」画面が表示されます。ここでは、電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源を入れたときや圏内に入ったときに着信日時や発信者番号をメッセージ（SMS）で通知する機能の設定を行います。 ・「開始」をタップすると、着信通知の対象が指定できます。「全着信」を選択すると、すべての着信が通知されます。「発番号あり」を選択すると、番号を通知している着信のみ通知されます。 ・「停止」をタップし、着信通知を行っている状態で「OK」をタップすると着信通知が停止されます。 ・「設定確認」をタップすると着信通知の設定状況が表示されます。
表示消去	留守番電話の通知が消去されます。

お知らせ

- 留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしている場合、ステータスバーに[留守番電話アイコン]が表示されます。[留守番電話アイコン]は、すべての伝言メッセージをガイダンスに従って消去または保存すると、消すことができます。

伝言メッセージを再生する

1 ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルが表示されます。

2 「新しいボイスメール」▶「はい」

- 留守番電話サービスセンターに接続されます。ガイダンスに従い操作することで伝言メッセージが再生されます。

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

お知らせ

- 保留中も、電話を発信した方に通話料金がかかります。

キャッチホンを設定する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「通話設定」▶「キャッチホン」

- 「キャッチホン」画面が表示されます。以下の操作を行うことができます。

開始	「OK」をタップすると、キャッチホンサービスを開始します。
停止	「OK」をタップすると、キャッチホンサービスを停止します。
設定確認	キャッチホンの設定状況が表示されます。

通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら を右にドラッグ

- 通話中の相手との通話は自動的に保留となり、後からかかってきた電話を受けます。

2 最初の相手との通話に切り替える

- 後からかかってきた相手との通話を終了する場合は、「終了」をタップします。後からかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。
- 後からかかってきた相手との通話を保留にする場合は、「切り替え」をタップします。後からかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。「切り替え」をタップするたびに通話相手が切り替わります。

通話中の電話を終了して、かかってきた電話に出る

1 通話中に ▶「通話を終了して応答」または「通話中通話終了」

- 通話中の相手との通話が終了し、後からかかってきた電話を受けます。

通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかける

1 通話中に「通話を追加」

- 「電話」タブが表示されます。

2 相手の電話番号を入力して [電話アイコン]

- 最初の相手との通話は自動的に保留となり、新たにかけた相手との通話に切り替わります。「連絡先」タブ、「通話履歴」タブをタップすることで連絡先を検索することもできます。

3 最初の相手との通話に切り替える

- 新しくかけた相手との通話を終了するには「終了」をタップします。新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。
- 新しくかけた相手との通話を保留にするには「切り替え」をタップします。新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。「切り替え」をタップするたびに通話相手が切り替わります。

転送でんわサービス

電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、電話を転送するサービスです。

お知らせ

- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合には、「通話履歴」には「不在着信」として記録され、ステータスバーに [不在着信アイコン] が表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する

▼

転送でんわサービスを開始に設定する

▼

お客様のFOMA端末に電話がかかる

▼

電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

転送でんわサービスの通話料について

発信者

▼ 発信者に通話料がかかります。

転送でんわサービスのご契約者

▼ 転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

転送先

お知らせ

- 転送でんわサービスが有効になっていても、呼び出しが継続している間に応答すれば、そのまま通話できます。

転送でんわサービスを設定する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「通話設定」▶「転送でんわ」

- 「転送でんわ」画面が表示されます。以下の操作が行えます。

開始	**転送先を変更する**	転送先の電話番号を入力します。
	呼出時間を変更する	呼出時間を0～120（秒）で入力します。 呼出時間を「0」とした場合には、着信履歴に記録されません。
停止		「OK」をタップすると、転送でんわサービスを停止します。
転送先変更		変更する転送先の電話番号を入力して「OK」をタップすると、転送先を変更します。 転送でんわサービスが停止状態にある場合、「開始」にチェックマークを付けることで転送でんわサービスの開始操作も行うことができます。

転送先通話中時設定	「接続する」をタップすると、転送先が通話中の場合、着信を自動的に留守番電話サービスセンターに接続します※。
設定確認	転送サービスの設定状況が表示されます。

※「留守番電話サービス」のご契約が必要です。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 **ホーム画面で「電話」**

- 「電話」タブが表示されます。

2 **「1」▶「4」▶「2」▶「9」▶ [発信]**

- 音声ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って設定してください。詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

発信者番号通知

電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号を表示することができます。

お知らせ

- [圏外アイコン]（圏外）が表示されているところでは発信者番号通知の操作はできません。
- 相手の電話機が発信者番号表示が可能なときだけ有効です。
- 電話をかけたときに、発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか「186」を付けてからおかけ直しください。

1 **ホーム画面で [メニュー] ▶「設定」▶「通話設定」▶「発信者番号通知」**

- 「発信者番号通知」画面が表示されます。以下の操作を行うことができます。

設定確認	発信者番号通知の設定状況が表示されます。
設定	発信者番号の通知設定ができます。「通知する」をタップすると通知、「通知しない」をタップすると通知しないように設定します。

追加サービス

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用できます。

お知らせ

- サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。「特番」はサービスセンターに接続するための番号です。「サービスコード（USSD）」はサービスセンターに通知するためのコード番号です。

追加サービスを設定する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「通話設定」▶「追加サービス」

- 「追加サービス」画面が表示されます。

2 「USSD追加機能」▶「USSD追加機能」

- 「USSD追加機能」メニューが表示されます。

3 「名称」と「コマンド」を入力して「OK」

- 「名称」は、全角で20文字、半角で20文字まで入力できます。

サービス利用時の応答メッセージを登録する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「通話設定」▶「追加サービス」

- 「追加サービス」画面が表示されます。

2 「USSD応答メッセージ追加」▶「USSD応答メッセージ追加」

- 「USSD応答メッセージ追加」メニューが表示されます。

3 「ワーディング」と「コマンド」を入力して「OK」

- 新しいサービスを追加します。
- 「ワーディング」は、全角で20文字、半角で20文字まで入力できます。

登録したサービスを利用する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「通話設定」▶「追加サービス」

- 「追加サービス」画面が表示されます。

2 「USSD追加機能」▶ 登録したサービスをタップする

- 登録したサービスが利用できます。

各種設定

設定メニュー

本FOMA端末では、ホーム画面で ▶「設定」をタップすると、さまざまな設定を行う「設定」画面が表示されます。ここで表示されるメニューは以下の通りです。

無線とネットワーク	各種ネットワークに関する設定を行います。（P97）
通話設定	各種通話に関する設定を行います。（P102）
音	音量などの設定を行います。（P103）
表示	画面の明るさやアニメーションなど表示に関する設定を行います。（P104）
ジェスチャー	モーションジェスチャーに関する設定を行います。（P104）
位置情報とセキュリティ	GPSや画面ロック、パスワードの設定などを行います。（P105）
アプリケーション	アプリケーションに関する設定を行います。（P109）
アカウントと同期	アカウントおよび同期に関する設定を行います。（P110）
プライバシー	FOMA端末内のすべてのデータを消去します。（P110）
ストレージ	microSDカードの空き容量表示、マウント、フォーマット、内部ストレージの空き容量表示などを行います。（P111）
言語とキーボード	本FOMA端末の使用言語やキーボードの設定を行います。（P111）
音声入出力	音声認識装置の設定やテキストの読み上げに関する設定を行います。（P112）
ユーザー補助	ユーザー補助に関するアプリケーションの設定などを行います。（P112）

日付と時刻	日付や時刻に関する設定を行います。（P113）
端末情報	本FOMA端末に関する各種情報を表示します。（P113）

無線とネットワーク

各種ネットワークの有効／無効を設定したり、ネットワーク接続に必要な設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

フライトモード	電波を発する機能を有効／無効にします。
Wi-Fi	Wi-Fi機能をON ／ OFFにします。
Wi-Fi設定	Wi-Fi機能を使用するための各種設定を行います。（P46）
Bluetooth	Bluetooth機能をON ／ OFFにします。
Bluetooth設定	Bluetooth機能を使用するための各種設定を行います。
ポータブルアクセスポイント	FOMA端末をポータブルWi-Fi アクセスポイントとして、データ通信を利用します。
VPN設定	VPN（仮想専用線）を用いた通信をするための設定を行います。
モバイルネットワーク	アクセスポイントの設定やデータローミング、ネットワークモードの設定を行います。

On-Screen Phone設定	パソコンとUSB接続又はBluetooth接続してパソコン上にFOMA端末の画面を表示して操作するときの、パスワードの変更を行います。

● LG On-Screen Phone（OSP）とは

LG On-Screen PhoneはFOMA端末の画面をパソコンで表示でき、パソコンのマウス／キーボード入力を使ってFOMA端末を簡単に操作できる機能※です。

パソコンのキーボードを使って文字を入力したり、アラームやスケジュールや電話の受信などをパソコンに通知したり、ドラッグ＆ドロップでパソコンとFOMA端末でファイルの交換をしたりできます。

※ FOMA端末で操作できる機能のうち、LG On-Screen Phoneでは操作できない機能もあります。

● OSPについて

- 操作方法やパソコンソフトのダウンロード、その他詳しくは、下記のホームページをご参照ください。
  パソコンから
  → http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

ポータブルWi-Fiアクセスポイントを設定する

ポータブルWi-Fiアクセスポイント

FOMA端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに8台まで同時接続させることができます。

1 **ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「ポータブルアクセスポイント」**

2 **「ポータブルWi-Fiアクセスポイント」にチェックマークを付ける**

- 注意メッセージが表示された場合、「OK」をタップします。

お知らせ

- お買い上げの状態では、ネットワークSSIDは「AndroidAP」、セキュリティは「なし」となっております。必要に応じて、セキュリティの設定を行ってください。
- ご利用時の料金など詳細については http://www.nttdocomo.co.jp/ をご参照ください。

ポータブルWi-Fiアクセスポイントを追加する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「ポータブルアクセスポイント」

2 「ポータブルWi-Fiアクセスポイントの設定」

3 「Wi-Fiアクセスポイント設定」

- 「Wi-Fiアクセスポイント設定」メニューが表示されます。

4 「ネットワークSSID」ボックスをタップし、ネットワークSSIDを入力する

5 「セキュリティ」

- 「セキュリティ」メニューが表示されます。「なし」「WPA/WPA2 PSK」から適切なものを選択します。

6 「パスワード」ボックスをタップしてパスワードを入力する

- 「セキュリティ」を「なし」に設定している場合には、入力不要です。

7 「保存」

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。
FOMA端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

VPNを追加する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「VPN設定」

2 「VPNの追加」

3 追加するVPNの種類をタップする

- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

4 「VPN名」▶ VPN名を入力 ▶「OK」

5 「VPNサーバーの設定」▶ VPNサーバーの設定を入力 ▶「OK」

6 その他、必要な項目を入力する

7 ▶「保存」

VPNに接続する

1 **VPNの一覧で、接続するVPN名をタップする**

- メニューが表示されます。

2 **「ユーザー名」▶ユーザー名を入力する**

3 **「パスワード」▶パスワードを入力する**

4 **「接続」**

- VPNの一覧で、接続するVPN名を1秒以上タッチ▶「ネットワークに接続」をタップしても接続できます。

VPNを編集する

1 **VPNの一覧で、編集するVPN名を1秒以上タッチする**

- メニューが表示されます。

2 **「ネットワークの編集」**

- すでに登録されている情報が入力された状態で設定の詳細画面が表示されます。

3 **情報の追加、削除、修正を行い ▶「保存」**

- 設定が更新されます。

VPNを削除する

1 **VPNの一覧で、削除するVPN名を1秒以上タッチする**

- メニューが表示されます。

2 **「ネットワークを削除」▶「OK」**

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 **ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」**

アクセスポイントを追加で設定する<新しいAPN>

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」▶ ▶「APNの追加」

2 「名前」▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶「OK」

3 「APN」▶ アクセスポイント名を入力 ▶「OK」

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

5 ▶「保存」

お知らせ

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。
- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 ▶「初期設定に戻す」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 「mopera U（スマートフォン定額）」または「mopera U設定」のラジオボタンをタップして選択する

お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- 「mopera U（スマートフォン定額）」をご利用の場合、「パケット定額サービス」のご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

通話設定

各種通話に関する設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

ネットワークサービス	
留守番電話サービス	留守番電話サービスに関する設定を行います。（P88）
キャッチホン	キャッチホンに関する設定を行います。（P91）
転送でんわ	転送でんわに関する設定を行います。（P92）
発信者番号通知	電話をかけたときに相手に発信者番号を表示するかどうかを設定します。（P94）
追加サービス	新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスを利用するための設定を行います。（P95）

音

着信音の種類や音量、マナーモード、バイブレータなどの設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

その他	
マナーモード	マナーモードにする／しないを設定します。マナーモードにすると、音楽／動画メディア、アラーム以外は消音になります。
バイブレータ	バイブレータを使用する場面を設定します。
音量	着信音、音楽／動画メディア、アラームの音量を設定します。また、着信音量を通知音にも適用できます。
着信	
着信音の選択	着信音として使用する音を設定します。
通知	
通知音	通知音として使用する音を設定します。

フィードバック	
タッチ操作音	電話番号の入力時に音を鳴らす／鳴らさないを設定します。
選択時の効果音	メニュー選択時に音を鳴らす／鳴らさないを設定します。
画面ロック時の音	画面のロック／ロック解除時に音を鳴らす／鳴らさないを設定します。
入力時バイブレータ	、、、操作時など特定の操作を行った場合にバイブレータが動作する／しないを設定します。

表示

画面の明るさやアニメーションなど表示に関する設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

画面の明るさ	画面の明るさを設定します。
縦横表示の自動回転	本FOMA端末を回転した場合、画面表示を自動的に変更する／しないを設定します。
アニメーション表示	画面操作によるアニメーション表示の設定を行います。
バックライト点灯時間	操作しない状態がどれだけ継続したらバックライトを消灯するかを設定します。

ジェスチャー

各種モーションジェスチャーの有効／無効を設定したり、ジェスチャーセンサーの再キャリブレーションを行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

モーションジェスチャー	モーションジェスチャーの各機能を使用する／しないを設定します。(P41)
センサーをリセットする	ジェスチャーセンサーを再キャリブレーションします。

位置情報とセキュリティ

GPSや画面ロック、パスワードの設定などを行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

現在地	
無線ネットワークを使用	無線ネットワークを使用するアプリケーションで位置情報を表示します。
GPS機能を使用	GPS機能を使用する／しないを設定します。
画面ロック解除	
画面ロックのセットアップ	画面ロックを使用する／しない、使用する場合に必要な設定を行います。
UIMカードのロック	
UIMカードのロック設定	SIMカード（ドコモUIMカード）のロックを使用する／しない、使用する場合に必要な設定を行います。
パスワード	
パスワードの表示	パスワード入力時に、入力した文字を表示する／しないを設定します。

デバイス管理	
デバイス管理者の選択	本FOMA端末の管理者を追加または削除します。
認証情報ストレージ	
保護された認証情報の使用	安全な証明書と他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可する／しないを設定します。
SDカードからインストール	暗号化された証明書をSDカードからインストールします。
パスワードの設定	認証情報ストレージのパスワードを設定／変更します。
ストレージの消去	認証情報ストレージのすべてのコンテンツを消去してパスワードをリセットします。

お知らせ

<画面ロックの解除について>

- パターン入力を5回間違えると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。パターンを忘れた場合、再入力画面で「パターンを忘れた場合」をタップして、FOMA端末に設定したGoogleアカウントでログインしてください。新しいパターンを入力できます。
- Googleアカウントを設定していない場合、PINまたはパスワードを忘れた場合は、画面ロックを解除できませんのでご注意ください。

暗証番号とドコモUIMカードの保護について

本FOMA端末を便利で安全にお使いいただくため、本FOMA端末をロックするためのコードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などが設定できます。用途に応じて上手に使い分けて、本FOMA端末をご活用ください。

お知らせ

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」など容易に推測できる番号は避けてください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類や本FOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID ／パスワード」をお持ちの方は、パソコンで新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

お知らせ

- 「My docomo」については、P232をご覧ください。

PINコード

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PINコードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する４～８桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、端末操作が可能となります。

お知らせ

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

ドコモUIMカードのPINを有効にする

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「位置情報とセキュリティ」

2 「UIMカードのロック設定」

- 「UIMカードのロック設定」画面が表示されます。

3 「UIMカードをロックする」

- 「UIMカードをロックします」画面が表示されます。

4 PINコードを入力して「OK」

- 電源を入れたときにPINコードの入力が求められます。

PINコードを変更する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「位置情報とセキュリティ」

2 「UIMカードのロック設定」

- 「UIMカードのロック設定」画面が表示されます。

3 「UIM PINを変更する」

- 「UIM PIN」画面が表示され、PINコードの入力が求められます。

4 すでに設定されているPINコードを入力して「OK」

- 「UIM PIN」画面でPINコードの入力が求められます。

5 新たに設定するPINコードを入力して「OK」

- 「UIM PIN」画面で再びPINコードの入力が求められます。

6 手順5で入力したものと同じPINコードを入力して「OK」

- PINコードが変更されます。

お知らせ

- PINコードは、初期設定で「0000」となっています。

PINコードを入力する

本FOMA端末の電源を入れたときにPINコードの入力が求められたら、以下のように操作します。

1 ドコモUIMカードのPINコードを入力して「OK」

ドコモUIMカードのPUKロックを解除する

PINコードの入力を3回連続間違えてPINコードがロックされた場合は、以下のように操作します。

1 PINロック解除コード入力（PUK）画面でPINロック解除コードを入力して「OK」
2 新たに設定するPINコードを入力して「OK」
3 手順2で入力したものと同じPINコードを入力して「OK」

アプリケーション

アプリケーションに関する設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

提供元不明のアプリ	Androidマーケットで提供されるアプリケーション以外のアプリケーションのインストールを許可する／しないを設定します。
アプリケーションの管理	インストールされているアプリケーションをリスト表示／削除します。
実行中のサービス	実行中のサービスをリスト表示／停止します。
ストレージ使用状況	アプリケーションのストレージ使用状況を表示します。
電池消費状況	電池を使用しているアプリケーションや電池使用量を表示します。
開発	アプリケーション開発に必要となる各種設定を行います。

アカウントと同期

アカウントおよび同期の設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

同期の基本設定	
バックグラウンドデータ	同期機能を有するアプリケーションが常に同期およびデータの送受信を可能とする／しないを設定します。
自動同期	同期機能を有するアプリケーションが自動的にデータを同期するようにする／しないを設定します。
アカウントを管理	
Microsoft Exchange、Googleなど本FOMA端末で使用するアカウントを追加／削除します。	

プライバシー

初期化の操作を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

個人データ	
データの初期化	本FOMA端末内のすべてのデータを消去します。

FOMA端末を初期化する

1. ホーム画面で ▶「設定」▶「プライバシー」
2. 「データの初期化」▶「携帯電話のリセット」▶「すべて消去」

お知らせ

- 画像や動画、音楽などのお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。接続方法について、詳しくは「ファイル管理」(P141)、および「外部機器接続」(P148)をご参照ください。

ストレージ

microSDカードの空き容量表示、マウント、フォーマットおよび内部ストレージの空き容量表示を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

SDカード	
合計の容量	SDカードの全容量を表示します。
空き容量	SDカードの空き容量を表示します。
SDカードのマウント解除／SDカードのマウント	• SDカードのマウントを解除して、安全に取り外しが行えるようにします。 • SDカードをマウントして、使用できるようにします。
SDカードのフォーマット	SDカード内の全データ（音楽、写真など）を消去します。
内部ストレージ	
空き容量	内部ストレージの空き容量を表示します。

言語とキーボード

本FOMA端末の使用言語やキーボードの設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

言語設定	
言語の選択	FOMA端末で使用する言語を選択します。
ユーザー辞書	Googleが提供する文字入力アプリケーションを使用する場合のユーザー辞書について登録などを行います。Googleが提供する文字入力アプリケーションはAndroidマーケットからダウンロードできます。
キーボード設定	
iWnn IME	画面キーボードの設定を行います。

音声入出力

音声の入出力に関する設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

音声入力	
音声認識の設定	音声認識の設定を行います。
音声出力	
テキスト読み上げの設定	テキストの読み上げに関する設定を行います。

ユーザー補助

ユーザー補助に関するアプリケーションの設定などを行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

ユーザー補助	ユーザー補助に対応したアプリケーションを有効／無効にします。

お知らせ

- お買い上げ時は、「ユーザー補助アプリケーションが見つかりません」とメッセージが表示されます。ユーザー補助を設定したい場合は、あらかじめAndroidマーケットから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。

日付と時刻

日付や時刻に関する設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

自動	ネットワークを介して日付と時刻の情報を取得し、自動的に設定します。
日付の設定	日付の設定を行います。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンの設定を行います。
時刻の設定	時刻の設定を行います。
24時間表示	24時間表示とするか、12時間表示とするかを設定します。
日付表示形式の選択	日付の表示形式を設定します。

端末情報

本FOMA端末に関する各種情報を表示します。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

ソフトウェア更新	ソフトウェア更新設定の変更などができます。
端末の状態	本FOMA端末に関する各種情報を表示します。
電池消費状況	電池の使用量に関する情報を表示します。
使用条件	利用規約に関する情報を表示します。
モデル番号	本FOMA端末のモデル番号（機種名）を表示します。
Androidバージョン	本FOMA端末で稼働中のAndroidのバージョンを表示します。
ベースバンドバージョン	本FOMA端末で稼働中のベースバンドバージョンを表示します。
カーネルバージョン	本FOMA端末で稼働中のAndroidで使用されているカーネルのバージョンを表示します。

ビルド番号	本FOMA端末で稼働中のAndroidのビルド番号を表示します。
ソフトウェアバージョン	本FOMA端末で稼働中のソフトウェアバージョンを表示します。

自局番号を表示する

1 **ホーム画面で ▶「設定」▶「端末情報」**

2 **「端末の状態」**

- 「端末の状態」画面が表示されます。「電話番号」として自局番号が表示されます。

メール／インターネット

メール

パソコンと同様にメールを送受信できます。一般的なメールのほかMicrosoft Exchange Serverを使用したメールの送受信も行うことができます。

メールを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メール」

- 「受信トレイ」画面が表示されます。
- 新着メールがある場合は自動で受信します。

お知らせ

- アカウントの登録を行っていない状態で「メール」アプリケーションを開いた場合、「メールアカウントの設定」画面が表示されます。（「メールアカウントを設定する」→P115）
- 複数のメールアカウントを設定している場合は、受信トレイ画面で ▶「アカウント」で登録しているアカウントをタップして切り替えることができます。

メールアカウントを設定する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メール」

- 「メールアカウントの設定」画面が表示されます。

2 「メールアカウントの設定」画面でメールアドレスとパスワードを入力する

3 「手動セットアップ」または「次へ」

- 「手動セットアップ」をタップした場合はアカウントタイプを選択します。以降は画面に従って設定してください。設定情報などにつきましては、サーバー管理者にお問い合わせください。

お知らせ

- ここで設定した内容は、後から変更できます。詳しくは「メールの設定を変更する」（P117）をご参照ください。
- Microsoft Exchange Serverのバージョンや一部機能によってはご利用いただけない場合があります。

受信したメールを表示する

1 「受信トレイ」画面でいずれかのメールをタップする

- メール画面にメールの内容が表示されます。

お知らせ

- 受信トレイ確認頻度の設定を「自動で確認しない」に設定している場合、新着メールは自動で受信されません。
- mopera Uメールの設定で「メール自動受信」がONの場合、メールアプリケーションの設定にかかわらずメールは自動で受信されます。
  ※ メールが自動的に受信されない場合には、▶「更新」をタップしてください。

メールを作成して送信する

1 「受信トレイ」画面で ▶「作成」

- 「作成」画面が表示されます。

2 「To」ボックスに送信相手のメールアドレスを入力する

3 「件名」ボックスに件名を入力する

4 「メッセージを作成」ボックスにメッセージを入力する

5 「送信」

お知らせ

- 無効なメールアドレスを入力したまま「送信」をタップすると、「To」ボックスの右側に が表示されます。入力内容を確認して修正してください。

アカウントを追加する

「メール」アプリケーションでは、複数のアカウントを登録して利用することができます。

1 「受信トレイ」画面で ▶「アカウント」

- 「メール」画面が表示されます。

2 ▶「アカウントを追加」

- 「メールアカウントの設定」画面が表示されます。

3 メールアドレスとパスワードを入力する

4 「手動セットアップ」または「次へ」

- 「手動セットアップ」をタップした場合はアカウントタイプを選択します。以降は画面に従って設定してください。設定情報などにつきましては、サーバー管理者にお問い合わせください。

メールの設定を変更する

1 「受信トレイ」画面で ▶「アカウントの設定」

- 「アカウントの設定」画面が表示されます。

2 必要に応じて設定を変更する

全般設定	アカウント名、名前、署名、新着メールを確認する頻度、どのアカウントを優先アカウントにするかなどを設定します。
通知設定	新着メール受信時の通知、メール受信時の着信音/バイブレータなどを設定します。
サーバー設定	受信/送信サーバーの設定を行います。

spモードメール

iモードのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。
spモードメールの詳細については、「ご利用ガイドブック(spモード編)」をご覧ください。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「spモードメール」

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

Gmail

Googleアカウントをお持ちの場合は、Gmailを利用してメールを送受信できます。Googleアカウントをお持ちでない場合は、アカウントを取得することで使用できます。

Gmailを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Gmail」

- Gmailが開き、「受信トレイ」画面が表示されます。

お知らせ

- Googleアカウントの設定が完了していないと「Googleアカウントを追加」画面が表示されます。表示に従って操作してください。Googleアカウントをお持ちでない場合には、アカウントの取得操作もできます。
- Gmailの詳細については、▶「その他」▶「ヘルプ」をご覧ください。

メールを作成して送信する

1 「受信トレイ」画面で ▶「新規作成」

- 「作成」画面が表示されます。

2 「To」ボックスに送信相手のメールアドレスを入力する

3 「件名」ボックスに件名を入力する

4 「メッセージを作成」ボックスにメッセージを入力する

5

- 「作成」画面で、▶「送信」をタップしても送信できます。

SMS

他の端末へ全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）までのテキストメッセージが送受信できます。

メッセージ（SMS）を送信する

1 ホーム画面で「メッセージ」

- 「メッセージ」画面が表示されます。

2 「新規作成」

3 「To」ボックスをタップ ▶ 送信相手の電話番号を入力する

- 入力した数字または連絡先の名前に前方一致する連絡先が表示されます。

4 「メッセージを入力」ボックスをタップ ▶ メッセージを入力する

5 「送信」

- メッセージが送信されます。

お知らせ

- メッセージを入力中に ▶「顔文字を挿入」をタップすると、絵文字が挿入できます。入力時には顔文字として表示されますが、Android搭載の端末で受信した場合、画面には絵文字で表示されます。
- メッセージ（SMS）が受信されたかを知るには、「メッセージ」画面で ▶「設定」をタップし、「通知」にチェックマークを付けます。
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「＋」▶「国番号」▶「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いた電話番号を入力します。
  また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください）。

メッセージ（SMS）を受信する／読む

1 ホーム画面で「メッセージ」

・「メッセージ」画面が表示されます。

2 いずれかのスレッドをタップする

・ メッセージが表示されます。

お知らせ

・ メッセージ（SMS）を受信すると、 がステータスバーに表示されます。メッセージを読むには、ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして通知パネルを開き、新着通知をタップします。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報を受信することができます。

・ エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
・ 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 電源OFF時
  - 圏外時
  - 機内モード中
  - 音声通話中
  - ソフトウェア更新中
  - 国際ローミング中
  - メッセージ（SMS）送受信中
  - 他社のSIMカードをご利用時
・ パケット通信およびテザリング機能を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
・ 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。

エリアメールを受信する

1 エリアメールを自動的に受信する

・ エリアメールを受信すると、専用の着信音が鳴り、エリアメールの本文が表示されます。
・ キーロックされている場合、エリアメールの本文は表示されません。キーロックを解除すると表示されます。
・ 着信音量を変更することはできません。

受信したエリアメールをあとで表示する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「エリアメール」

- 「緊急速報「エリアメール」受信ＢＯＸ」画面が表示されます。

2 いずれかのエリアメールをタップする

- エリアメールの本文が表示されます。

エリアメールを設定する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「エリアメール」

- 「緊急速報「エリアメール」受信ＢＯＸ」画面が表示されます。

2 ▶「設定」

- 「設定」メニューが表示されます。

3 必要に応じて設定を変更する

受信設定	チェックマークを付けるとエリアメールを受信します。
着信音	着信音の鳴動時間とマナーモード設定中の動作を設定します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報と災害・避難情報の受信時の動作を確認できます。
その他の設定	緊急地震速報と災害・避難情報以外のエリアメールを受信するために、受信したいエリアメール名とMessage IDを登録できます。

ブラウザ

ブラウザを利用することで、パソコンと同じようにウェブページが閲覧できます。

ブラウザを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ブラウザ」

- ブラウザが開いて、前回閲覧したウェブページが表示されます。最近、ブラウザを使用していない場合は、ホームページが表示されます。

お知らせ

- パソコン用に作成されたウェブページを表示すると、最初は全体表示されますが、表示を拡大／縮小したり、スクロールできます。詳しくは「タッチスクリーンの操作」（P39）をご参照ください。
- ウェブページの操作は、ウェブサイトの形式や内容によって異なる場合があります。
- 本FOMA端末で表示、再生できるファイル形式については、「ファイル形式」（P214）をご参照ください。

ウェブページを表示する

URLを入力してウェブページを表示する

1 ブラウザ画面の検索ボックスをタップする

2 ウェブページのURLを入力する

- 入力が完了する前でも、入力した文字に一致するウェブページの候補や検索候補がリスト表示されます。

3 リストのいずれかをタップするか、URLを最後まで入力して →

- 指定したURLのウェブページが表示されます。

お知らせ

- ウェブページの表示を中止するには、× をタップするか、▶「停止」をタップします。

文字を入力してウェブページを検索する

1 検索ボックスをタップする

2 検索する文字を入力する

- 入力が完了する前でも、入力した文字の検索語を含むウェブページがリスト表示されます。

3 リストのいずれかをタップするか、文字を最後まで入力して →

- 該当のウェブページが表示されます。

音声入力でウェブページを検索する

1 検索ボックスをタップする

2

- 「お話しください」と表示されます。

3 マイクに向かって検索語をはっきりと発声する

- 音声が文字に変換され、検索ボックスに入力されるとともに、検索語を含むウェブページがリスト表示されます。

4 リストのいずれかをタップする

- 該当のウェブページが表示されます。

ウェブページの表示を拡大／縮小する

1 ブラウザ画面をドラッグまたはスワイプする

2 または をタップする

特定の箇所を拡大／縮小する

1 ウェブページをピンチアウトする

- 操作を開始した位置を中心に拡大表示されます。

2 ウェブページをピンチインする

- 縮小表示されます。

ブックマークや履歴を活用する

ウェブページをブックマークすることで、そのウェブページにすばやくアクセスできます。
また、過去に閲覧したウェブページの履歴を表示し、そのウェブページを再び表示できます。

ブックマークを追加する

1 ブックマークするウェブページを表示する

2 ▶「ブックマーク」

- 「ブックマーク」タブにブックマークのサムネイルが表示されます。

3 「★追加」

4 必要に応じて名前とURLを編集し、「OK」

- ブックマークリストに表示されていたウェブページのサムネイルが表示されます。

ブックマークしたウェブページを表示する

1 ブラウザ画面で ▶「ブックマーク」

- 「ブックマーク」タブが表示されます。

2 表示するブックマークをタップする

- 該当のウェブページが表示されます。

ブラウザの設定を変更する

1 ブラウザ画面で ▶「その他」▶「設定」

- メニューが表示されます。

2 必要に応じて設定を変更する

表示設定	ウェブページを表示するときの文字サイズやデフォルトの倍率、テキストエンコードの設定、ポップアップウィンドウを表示するかどうか、画像を読み込むかどうか、JavaScriptやプラグインを有効にするかどうか、ホームページの設定などを行います。
プライバシー設定	ブラウザのキャッシュ、閲覧履歴、Cookie、フォームデータ、位置情報へのアクセス許可を消去できます。Cookieを受け入れるか、フォームデータを保存するか、位置情報を有効にするかどうかの設定を行います。
セキュリティ設定	パスワードを保存するかどうか、セキュリティ警告を表示するかどうかを設定します。保存されているパスワードを消去することもできます。
詳細設定	ウェブサイトごとの設定や、ブラウザの設定を初期値に戻すことができます。

トーク

Google トークはGoogleのインスタントメッセージプログラムです。Googleアカウントを所有する友だちとチャット（文字によるおしゃべり）ができます。Google トークを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。詳しくは「オンラインサービスアカウントを設定する」（P50）をご参照ください。

Google トーク利用の準備

Google トークを利用するには、ログインとメンバーの追加が必要です。ただし、すでにGoogleアカウントを設定している場合は、サインインなしでご利用になれます。

Google トークにログインする

1 ホーム画面で「アプリ」▶「トーク」

- 設定しているGoogleアカウントが表示されます。

お知らせ

- Googleアカウントの設定が完了していないと「Googleアカウントを追加」画面が表示されます。表示に従って操作してください。Googleアカウントをお持ちでない場合には、アカウントの取得操作もできます。

チャットする

1 「トーク」画面でチャット相手のアカウントをタップする

- チャット画面が表示されます。

2 「メッセージを入力」ボックスをタップ ▶ 文字を入力して「送信」

- 文字ボックスに入力した内容が送信されます。

マルチメディア

カメラを利用する

本FOMA端末には、カメラが内蔵されており、静止画（写真）や動画が撮影できます。

撮影の前に

本FOMA端末で撮影した写真または動画は、すべてmicroSDカードに保存されます。カメラを使用する前にmicroSDカードを挿入してください。
ファイル転送中などmicroSDカードでデータを読み書きしている場合、写真を撮影することはできません。

著作権・肖像権について

本FOMA端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむ目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影するときのご注意

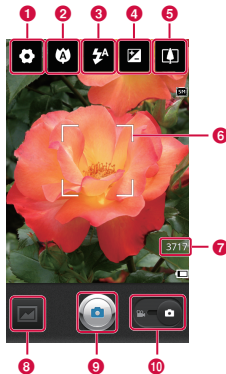
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線がある場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA端末を暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間放置したりすると、撮影する画像や映像が劣化することがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては静止画や動画の色合いが異なることがあります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となったりします。

- 撮影時は、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- 速く動いている被写体を撮影すると、撮影したときに画面に表示されていた位置とは若干ずれた位置で撮影されたり、画像がぶれたりする場合があります。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。電池残量を確認してから撮影してください。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- シャッター音はマナーモード設定中でも一定の音量で鳴ります。

静止画を撮影する

静止画は、縦向きと横向きとのどちらでも撮影できます。

撮影画面の見かた

静止画撮影画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。

❶ **設定（静止画撮影時）**
撮影サイズ／撮影シーン／ ISO ／ホワイトバランス／色調調整／セルフタイマー／撮影モード／画質／オートプレビュー／シャッター音／位置情報の記録の設定を行います（横向き画面で表示）。

❷ **フォーカス**
指定した位置にフォーカス（オート／マクロ／自動追従AF ／顔追従／マニュアル）を合わせます。

❸ **フラッシュ**
フラッシュ（オート／赤目軽減／ ON ／ OFF）を設定します。

❹ **ブライトネス**
輝度を調整します。

❺ **ズーム**
ズームを調整します。

❻ **オートフォーカス枠**
オートフォーカスに成功した場合は緑色で表示されます。失敗した場合は赤色で表示されます。

❼ **撮影可能枚数**

❽ **サムネイル**
タップするとプレビュー画面が表示され、撮影した静止画の確認ができます。また、静止画を編集することもできます。

❾ **シャッター**

❿ **静止画／動画撮影モードの切り替えボタン**
静止画撮影モードまたは動画撮影モードに切り替えます。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「カメラ」

- 静止画撮影画面が表示されます。
- 画面にはメニューが表示され、撮影するシーンや状況に応じて、さまざまな設定ができます。
- メニューのアイコンをタップすると ? が表示されます。このアイコンをタップすると、それぞれの機能の詳細が確認できます。
- メニューは、一定時間を経過すると自動的に非表示となりますが、タッチスクリーンをタップするか、 をタップすると表示できます。

2 カメラを被写体に向ける

3

- シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。
- 撮影後は、撮影された静止画がプレビューとして表示されます。
- 撮影したデータは、「ギャラリー」に保存されます。

お知らせ

- 撮影後、表示されるプレビュー画面にはメニューが表示され、以下の操作ができます。

  <画面上部（横画面の場合は、画面左部）>
  - 「名前を変更」：撮影した静止画の名前を編集できます。
  - 「設定」：壁紙または連絡先のアイコンに設定できます。
  - 「共有」：BluetoothやGmail、Picasa、メール※で送信できます。

  ※ メールアカウントを登録している場合のみ表示されます。

  <画面下部（横画面の場合は、画面右部）>
  - ：撮影した静止画を確認したり編集できます。
  - ：新たに静止画を撮影できます。
  - ：表示されている静止画を削除します。

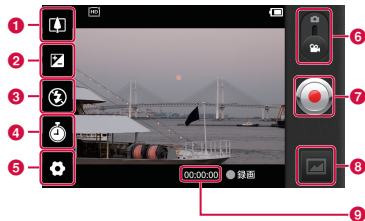
動画を撮影する

モードを切り替えることで動画が撮影できます。動画は横向きで撮影されます。

撮影画面の見かた

動画撮影画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。

❶ **ズーム**
ズームを調整します。

❷ **ブライトネス**
輝度を調節します。

❸ **フラッシュ**
フラッシュのON ／ OFFを設定します。

❹ **録画時間**

録画時間（標準／メール添付用）を設定します。「メール添付用」を選択すると、メール添付に適するよう録画時間の制限があります。

❺ **設定（動画撮影時）**

ビデオサイズ／ホワイトバランス／色調調整／画質／録音設定／オートレビューの設定を行います。

❻ **静止画／動画撮影モードの切り替えボタン**

静止画撮影モードまたは動画撮影モードに切り替えます。

❼ **録画ボタン**

❽ **サムネイル**

タップするとプレビュー画面が表示され、撮影した動画の確認ができます。

❾ **撮影時間**

動画を撮影する

1 静止画撮影画面で をドラッグする

- 動画撮影画面に切り替わります。
- 画面にはメニューが表示され、撮影するシーンや状況に応じて、さまざまな設定ができます。
- メニューのアイコンをタップすると ? が表示されます。このアイコンをタップすると、それぞれの機能の詳細が確認できます。
- メニューは、一定時間を経過すると自動的に非表示となりますが、タッチスクリーンをタップするか、 をタップすることで表示できます。

2 カメラを被写体に向ける

3

- 録画開始音が鳴り、撮影が始まります。
- 録画中は「録画」の文字が赤く表示されるとともに赤い丸が点滅します。

4

- 録画停止音が鳴り、録画が停止します。その後、録画開始時の画面が表示されます。
- 撮影したデータは、「ギャラリー」に保存されます。

お知らせ

- 撮影後、表示されるプレビュー画面にはメニューが表示され、以下の操作ができます。

  <画面左側>
  - 「再生」：撮影した動画を再生します。
  - 「共有」：BluetoothやGmail、YouTube、メール※で送信できます。
  - 「名前を変更」：撮影した動画の名前を編集できます。

  ※ メールアカウントを登録している場合のみ表示されます。

  <画面右側>
  - ：表示されている動画を削除します。
  - ：新たに動画を撮影できます。
  - ：撮影した動画を確認できます。

ギャラリーを利用する

ギャラリーでは、静止画をスライドショーで表示したり、編集したりできます。

静止画や動画を見る

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ギャラリー」

- ギャラリー画面が表示されます。
- ギャラリーでは、カメラにより撮影されたものと、ダウンロードされたものがまとめて表示されます。

2 フォルダーをタップする

- 撮影された静止画や動画がサムネイルで表示されます。
- をタップすると、静止画や動画が撮影期間別に分けられます。
- 本FOMA端末のカメラで撮影した静止画や動画を見る場合は、「100ANDRO」をタップします。

3 いずれかのサムネイルをタップする

- 静止画の場合、をタップするか、タッチスクリーンをピンチアウト／ピンチインすることで画像を拡大／縮小することができます。
- 動画の場合、動画が再生されます。

お知らせ

- ギャラリー画面で をタップするか、いずれかのサムネイルを1秒以上タッチすると、サムネイル選択／解除画面が表示され、以下の操作ができます。

  ＜画面上部＞
  - 「全件選択」：すべてのサムネイルを選択します。
  - 「●●アイテム」：選択されたサムネイルの数を表示します。
  - 「全件解除」：選択をすべて解除します。

  ＜画面下部＞
  - 「共有」：選択された静止画をPicasaやGmail、Bluetooth、メール※で、動画をYouTubeやGmail、Bluetooth、メール※で送信できます。
  - 「削除」：選択した静止画や動画を削除します。
  - 「その他」：静止画や動画の詳細情報の確認、または静止画の登録、編集などができます。

  ※ メールアカウントを登録している場合のみ表示されます。

- 静止画表示画面では、以下の操作ができます。
  - 「スライドショー」：保存されている静止画や動画がスライドショーとして順に表示されます。
  - 「メニュー」：静止画の共有や削除などができます。
  - ：画像を拡大／縮小することができます。
  - ：カメラが起動し、静止画や動画の撮影ができます。

- 動画表示画面では、以下の操作ができます。
  - ／：画面をロック／解除します。
  - ：「ファイル情報」「画面の縦横比」メニューが表示されます。
    「ファイル情報」をタップすると、動画の詳細情報が確認できます。
    「画面の縦横比」をタップすると、動画再生時の画面サイズを選択できます。

ミュージックプレイヤーを利用する

ミュージックについて

「ミュージック」アプリケーションは、microSDカードに保存されたデジタルオーディオファイルを再生します。
ミュージックは次の音楽ファイル形式に対応します。

■ 再生可能なファイル形式

ファイル形式
MP3、AAC、AAC+、HE-AAC、MIDI、AMR、OGG、PCM(WAVE)

お知らせ

- ファイルによっては、対応するファイル形式であっても再生できない場合があります。
- 音楽データによっては、著作権により再生できないものがあります。

オーディオファイルをFOMA端末にコピーする

ミュージックを利用するには、お持ちのオーディオファイルをmicroSDカードにコピーする必要があります。

1. 付属のUSB接続ケーブル L01でFOMA端末とパソコンを接続する（P148）
2. パソコン側でリムーバブルディスクを開く
3. microSDカードのルートフォルダーにフォルダーを作成する
   - サブフォルダーを作成し、そのフォルダー内で音楽を管理することもできます。
4. 作成したフォルダーにオーディオファイルをコピーする
5. FOMA端末をパソコンから切断する（P149）

お知らせ

- パソコンに接続中は、本FOMA端末でカメラ、ギャラリー、ミュージック、ビデオプレイヤーなどのmicroSDカードを利用するアプリケーションはご利用いただけません。
- microSDカードの情報を失わないようにするため、必ずお使いのパソコンの指示に従って、パソコンとの接続を解除してください。
詳しくは「FOMA端末をパソコンから切断する」（P149）をご参照ください。
- 本FOMA端末は、USB大容量記憶インターフェースをサポートしているほとんどのデバイスと、以下のオペレーティングシステム（OS）に接続できます。
  - Windows® 7（32ビット／64ビット版）
  - Windows Vista®（32ビット／64ビット版）
  - Windows® XP（32ビット／64ビット版）

ミュージックライブラリ画面を表示する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ミュージック」

- ミュージックライブラリ画面が表示されます。
- ミュージックライブラリ画面は、「アーティスト」「アルバム」「曲」「プレイリスト」「再生中」の5つのタブがあります。「アーティスト」「アルバム」「曲」「プレイリスト」のタブはタップすることで、再生する曲が検索できます。横画面表示に切り替えると、「再生中」タブ も表示されます。

❶ **アーティスト**
アーティスト名が一覧表示されます。いずれかをタップすると、選択可能なアルバムまたは音楽が一覧表示されます。

❷ **アルバム**
アルバム名が一覧表示されます。いずれかをタップすると、選択可能な曲が一覧表示されます。

❸ **曲**
曲名が一覧表示されます。

❹ **プレイリスト**
プレイリストとして登録された曲名が一覧表示されます。

❺ **アーティスト名**

❻ **アルバム枚数／曲数**

曲を検索する

曲を検索するには、アーティスト名／アルバム名／曲名で行う方法と、文字を入力して検索する方法があります。文字を入力して検索する場合には、入力した文字がアーティスト名、アルバム名、曲名のいずれかに一致するものが表示されます。

アーティスト名／アルバム名／曲名／プレイリストで検索する

1 **「アーティスト」「アルバム」「曲」「プレイリスト」のいずれかのタブをタップする**

- タップしたカテゴリーに応じた結果が表示されます。

2 **リストアップされた項目のいずれかをタップする**

- アーティスト名で検索した場合には、アーティスト名 ▶ アルバム名をタップすることで曲名が表示されます。
- アルバム名で検索した場合には、アルバム名をタップすることで曲名が表示されます。

文字を入力して検索する

1 ミュージックライブラリ画面で 🔍

- クイック検索画面が表示されます。

2 検索文字を入力する

3 検索ボックスの 🔍 アイコンをタップする

曲を管理する

曲を削除する

1 ミュージックライブラリ画面で削除する曲を１秒以上タッチ

- メニューが表示されます。

2 「削除」▶「OK」

着信音に設定する

1 ミュージックライブラリ画面で着信音に設定する曲をタップ

2 曲を１秒以上タッチ

- メニューが表示されます。

3 「着信音に設定」

音楽を再生する

microSDカードに保存された音楽データは、トラック順に再生されます。また、再生順をシャッフルしランダムに再生することもできます。

トラック順に音楽を再生する

1 再生する曲を検索する

2 曲名をタップする

- 音楽再生画面が表示され、タップした曲が再生されます。

❶ **ジャケット画像**

❷ **アーティスト名**

❸ **アルバム名**

❹ **曲名**

❺ **再生経過時間**

❻ **プレイリスト**

❼ **シャッフル**

シャッフルのON／OFFを切り替えます。
ボタンのアイコンが緑色だとシャッフルがON、グレーだとOFFであることを示します。

❽ **リピート設定**

リピートのON／OFFを切り替えます。
ボタンのアイコンが緑色だと全曲リピート／1曲リピートがON、グレーだとOFFであることを示します。

❾ **キー操作のガイド表示**

- ⏮：再生中の曲の先頭から再生を始めます。ダブルタップすると、前の曲の先頭から再生を始めます。1秒以上タッチすると、再生中の曲を巻き戻します。
- ⏸／▶：一時停止／再生します。
- ⏭：次の曲の先頭から再生を始めます。1秒以上タッチすると、再生中の曲を早送りします。

❿ **曲全体の長さ**

⓫ **再生経過バー**

- ドラッグまたはタップすると、再生中の曲を任意の場所から再生します。

お知らせ

- 再生中は、ステータスバーに ▶ が表示されます。

ランダムに音楽を再生する

1 再生する曲を検索する

2 曲名をタップする

- 音楽画面が表示され、タップした曲が再生されます。

3 ⤮ をタップする

- 再生している曲を含むアルバムに含まれる曲をランダムに再生します。

お知らせ

- ミュージックライブラリに含まれるすべての曲をランダムに再生するには、音楽再生画面で ▶「シャッフル」をタップしてください。
音楽のランダム再生を解除するには、 ▶「シャッフルOFF」をタップします。

プレイリストを利用する

プレイリストを利用することで、好みの曲を集めて簡単に再生できます。プレイリストは複数作成できます。

プレイリストを作成する

1 ミュージックライブラリ画面で、好みの曲を検索する

2 好みの曲を1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

3 「プレイリストに追加」

- 「プレイリストに追加」メニューが表示されます。

4 操作したい項目をタップする

- 「現在のプレイリスト」をタップした場合、現在設定されているプレイリストに追加できます。
- 「新規」をタップすると、新たにプレイリスト名を指定して、そのプレイリストに追加できます。
- 登録済みのプレイリストがある場合、該当のプレイリスト名をタップすると、そのプレイリストに追加できます。

お知らせ

- 音楽再生画面で ▶「プレイリストに追加」をタップして、選択中の曲を「新規」または登録済みのプレイリストに追加することができます。

プレイリストを表示する／音楽を再生する

1 「プレイリスト」タブをタップする

- プレイリスト一覧が表示されます。

2 いずれかのプレイリストをタップする

- プレイリストに含まれる曲が表示されます。

3 いずれかの曲をタップする

- タップした曲が再生されます。

お知らせ

- プレイリスト名を1秒以上タッチすると、メニューが表示されます。そこで「再生」をタップすると、プレイリストに含まれる曲を順番に再生できます。

プレイリストを管理する

作成したプレイリストは、後からプレイリスト名や曲名を変更したり、プレイリストに追加した曲を削除できます。また、プレイリストに追加された曲を着信音に設定することもできます。

プレイリスト名を変更する

1 「プレイリスト」タブで、プレイリスト名を1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

2 「名前の変更」

- プレイリスト名を入力する画面が表示されます。

3 プレイリスト名を入力し「保存」

- 「プレイリスト」タブに変更後の名前が表示されます。

お知らせ

- 「最近追加した曲」については、削除および名前の変更はできません。

プレイリストの再生順を変更する

1 再生順を変更するプレイリストを開く

2 再生順を変更する曲の左にある ▦ をドラッグする

- 該当の曲がドラッグ位置に変更され、再生順も変更されます。

プレイリストの曲を着信音にする

1 「プレイリスト」タブで、着信音にする曲が含まれるプレイリストをタップする

- 該当のプレイリストに含まれる曲が表示されます。

2 着信音にする曲を1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

3 「着信音に設定」

- 該当の曲が着信音として設定されます。着信音について、詳しくは「音」(P103)をご参照ください。

お知らせ

- 音楽再生画面で ▣ ▶「着信音に設定」をタップしても、曲を着信音に設定することができます。

プレイリストから曲を削除する

1 「プレイリスト」タブで、削除する曲が含まれるプレイリストをタップする

- 該当のプレイリストに含まれる曲が表示されます。

2 削除する曲を1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

3 「プレイリストから削除」

- プレイリストから削除されます。

プレイリストを削除する

1 「プレイリスト」タブで、削除するプレイリストを1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

2 「削除」

- プレイリストが削除されます。

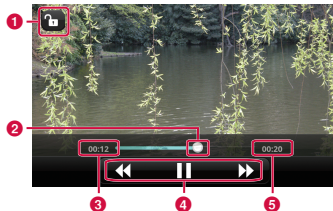
ビデオプレイヤーを利用する

microSDカードに保存されている動画を簡単に再生できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ビデオプレイヤー」

- microSDカードに保存されている動画が一覧表示されます。

2 いずれかの動画をタップする

- 動画が再生されます。

❶ **画面のロック**

❷ **再生経過バー**

ドラッグまたはタップすると、再生中の動画を任意の場所から再生します。

❸ **再生経過時間**

❹ **キー操作のガイド表示**

⏪ ：再生中の動画の先頭から再生を始めます。ダブルタップすると、前の動画の先頭から再生を始めます。1秒以上タッチすると、再生中の動画を巻き戻します。

⏸／▶ ：一時停止／再生します。

⏩ ：次の動画の先頭から再生を始めます。1秒以上タッチすると、再生中の動画を早送りします。

❺ **動画全体の長さ**

お知らせ

- 動画を1件削除する場合、動画の一覧表示画面で削除する動画を1秒以上タッチ ▶「削除」▶「OK」をタップしてください。
- 動画の一覧を表示中に ▶「複数選択」▶「全件選択」をタップ／動画をタップして選択 ▶「削除」▶「OK」をタップすると、動画を全件／複数件削除できます。

ファイル管理

ファイル操作について

FOMA端末とパソコンを付属のUSB接続ケーブルL01で接続して、パソコンの「Windows Media Player」と音楽などのデータを同期したり、ドラッグ＆ドロップでパソコンとFOMA端末でデータをやりとりしたりできます。一部の著作権で保護されたデータのやりとりは許可されない場合があります。

- 本FOMA端末をパソコンに認識させるには、専用のドライバおよびWindows Media Player 11以上が必要です。
  - 専用ドライバのダウンロードや操作方法、その他詳細については、下記のホームページを参照してください。
    http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp
  - 最新版のWindows Media Playerは、Microsoftのウェブサイトからダウンロードできます。
    http://www.microsoft.com/windows/windowsmedia/download
- FOMA端末とパソコンを接続中に、動画の撮影や再生など一部の機能が使用できない場合があります。

お知らせ

- ファイル操作に必要なパソコン側の動作環境は次のとおりです。
  - OS※：Windows 7／Windows Vista／Windows XP（Service Pack 3以降）
  - Windows Media Player：Windows Media Player 11以上

  ※ OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- パソコンでFOMA端末内のファイルを操作するには、FOMA端末とパソコン以外に次の機器、およびソフトウェアが必要です。
  - USB接続ケーブル L01
  - 専用のドライバ

  USBケーブルは、専用のUSB接続ケーブルL01 をご使用ください。パソコンのUSBケーブルはコネクタ部分の形状が異なるため使用できません。

FOMA端末内のフォルダーについて

FOMA端末とパソコンを接続すると、FOMA端末内のmicroSDカードが「リムーバブル ディスク」という名前で認識されます。
FOMA端末のカメラで撮影した静止画や動画を保存したときや、インターネットから画像、音楽などのデータをダウンロードしたときなど、そのファイルに対応したフォルダーがFOMA端末内のmicroSDカードに自動的に作成されます。

- FOMA端末とパソコンの接続方法について、詳しくは「FOMA端末とパソコンを接続する」（P148）をご参照ください。
- お買い上げ時の「リムーバブル ディスク」のフォルダー構成は次のとおりです。
  - .Android
  - .android_secure
  - DCIM
  - LOST.DIR
  - OSP

お知らせ

- カメラで撮影した静止画や動画はFOMA端末内のmicroSDカードの「DCIM」フォルダーに、パソコンのWindows Media Playerと同期した音楽データは「Music」フォルダーに保存されます。
- FOMA端末内のmicroSDカードに保存されているお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。パソコンとの接続方法について、詳しくは「ファイル操作について」（P141）、もしくは「FOMA端末とパソコンを接続する」（P148）をご参照ください。
- パソコンなど他の機器からFOMA端末内のmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からパソコンに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。

フォルダーやファイルの操作

パソコンとデータをやりとりする

1 付属のUSB接続ケーブル L01でFOMA端末とパソコンを接続する（P148）
2 FOMA端末とパソコンの間で、データをドラッグ＆ドロップする

Windows Media Playerとデータを同期する

パソコンのWindows Media Playerのライブラリと音楽や動画を同期できます。著作権保護付きの音楽や動画は、この方法によって著作権情報とともにFOMA端末に同期できます。

1 USB接続ケーブル L01でFOMA端末とパソコンを接続する（P148）
2 パソコン側でWindows Media Playerを起動する
3 Windows Media Playerで「同期」タブをクリックする
4 同期する音楽や動画をライブラリからFOMA端末にドラッグ＆ドロップする
5 Windows Media Playerで「同期の開始」をクリックする

お知らせ

- データの読み込みや書き込み中に、FOMA端末の電源を切らないでください。
- データの読み込みや書き込み中に、USB接続ケーブル L01を抜かないでください。データ消失などの原因となります。
- Windows Media Playerについて、詳しくはWindows Media Playerのヘルプをご参照ください。

Bluetooth通信

本FOMA端末とBluetoothデバイスをワイヤレスで接続し、データをやりとりできます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、「主な仕様」（P211）をご覧ください。
- Bluetoothの設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書をご覧ください。
- 本FOMA端末とすべてのBluetoothデバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■ Bluetooth機能使用時のご注意

- 本FOMA端末と他のBluetoothデバイスとは、見通し距離10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetoothデバイスの使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetoothデバイスをかばんに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、BluetoothデバイスとFOMA端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- 場合によっては、事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
  - 電車内
  - 航空機内
  - 病院内
  - 自動ドアや火災報知機から近い場所
  - ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

- 本FOMA端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しているため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。
  - Bluetoothデバイスと無線LAN対応機器は、10m以上離してください。
  - 10m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスまたは無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■ Bluetooth機能のパスキー（PIN）について

- Bluetooth機能のパスキー（PIN）は、接続するBluetoothデバイス同士が初めて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスキー（最大16文字の半角英数字）を入力する必要があります。
- 本FOMA端末ではパスキーを「PIN」と表示している場合があります。

Bluetooth機能をONにしてFOMA端末を検出可能にする

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Bluetooth設定」

2 「Bluetooth設定」にチェックマークを付ける
- Bluetooth機能がONになります。

3 「機器名」をタップして端末名を入力 ▶「OK」

4 「検出可能」にチェックマークを付ける
- FOMA端末が別のBluetoothデバイスから約120秒間検出可能になります。

お知らせ

- Bluetooth機能を使用しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- Bluetooth機能のON／OFF設定は、電源を切っても変更されません。

他のBluetoothデバイスとペアリング／接続する

Bluetooth通信を行うには、あらかじめ他のデバイスとペアリング（ペア設定）を行い、本FOMA端末に登録後、接続を行います。

- Bluetoothデバイスによって、ペアリングのみ行うデバイスと接続まで続けて行うデバイスがあります。

1 **ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Bluetooth設定」▶「Bluetooth機器のスキャン」**

- 検出されたBluetoothデバイスの一覧画面が表示されます。

2 **接続したいデバイスをタップする**

- Bluetoothデバイスにパスキー（PIN）が設定されている場合、パスキー（PIN）を入力して「OK」をタップしてください。
- Bluetoothデバイスによっては、デバイスをタップするとペアリング完了後、続けて接続まで行う場合があります。

お知らせ

- ペアリング時にパスキー（PIN）が必要なデバイスの場合も一度ペアリングを行うと、次回の接続時にはパスキー（PIN）の入力は不要になります。
- プロファイル非対応の場合など、接続できないデバイスの場合はペアリング設定は可能ですが、デバイスをタップしても接続できません。

他のデバイスからペアリング要求を受けた場合

Bluetooth通信のペアリングを要求する画面が表示された場合、「ペアリング」をタップするか、必要な場合は、パスキー（PIN）を入力して「OK」をタップしてください。

接続を解除する場合

1 「Bluetooth機器」の一覧で、接続中のデバイスをタップ ▶「OK」

- 接続中のデバイスを1秒以上タッチ ▶「切断」をタップしても接続を解除できます。

ペアリングを解除する場合

1 「Bluetooth機器」の一覧で、ペアリングを解除したいデバイスを1秒以上タッチ ▶「切断とペアリングの解消」

- ペアリングのみの状態のデバイスとペアリングを解除する場合、デバイスを1秒以上タッチ ▶「ペアリングの解除」をタップします。

Bluetooth機能でデータを送受信する

- あらかじめ本FOMA端末のBluetooth機能をONにし、検出可能にしてください。

Bluetooth機能でデータを送信する

連絡先（vcf形式の名刺データ）、予定表、仕事などのデータや静止画、動画などのファイルを、他のBluetoothデバイス（パソコンなど）に送信できます。

- 送信は各アプリケーションの「共有」／「送信」などのメニューから行ってください。

Bluetooth機能でデータを受信する

1 FOMA端末を検出可能な状態にする

2 Bluetooth認証要求の画面が表示されたら、「接続する」をタップする

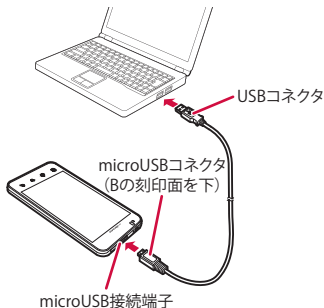
- ステータスバーに が表示され、データの受信が開始されます。
- 通知パネルで受信状態を確認できます。
- 受信が完了したら、画面下部にメッセージ画面が表示されます。

外部機器接続

FOMA端末とパソコンを接続する

ご使用のパソコンに専用のドライバやWindows Media Player 11以上が入っていることを確認してください。専用のドライバやWindows Media Player 11以上が入っていないと、FOMA端末がパソコンに正常に認識されない可能性があります。動作環境について、詳しくは「ファイル操作について」（P141）をご参照ください。

1 付属のUSB接続ケーブル L01のmicroUSBコネクタをFOMA端末のmicroUSB接続端子に差し込む

- microUSBコネクタは、Bの刻印がある面を下にして水平に差し込んでください。

2 USB接続ケーブル L01のUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

- FOMA端末がパソコン側に自動で認識されます。
- ステータスバーに が表示されます。
- パソコン側でデバイスドライバのインストールを要求される場合がありますが、キャンセルしてください。

3 ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして、「USB接続」をタップする

4 「USBストレージをONにする」▶「OK」

5 パソコン側で「マイ コンピュータ」を開き、「リムーバブル ディスク」を選択する

- FOMA端末内のフォルダー一覧が表示されます。
- 設定により「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「デバイスを開いてファイルを表示する」を選択してください。

お知らせ

- データの読み込みや書き込み中に、FOMA端末の電源を切らないでください
- データの読み込みや書き込み中、USB接続ケーブル L01を抜かないでください。データ消失などの原因となります。
- Windows Media Playerについて、詳しくはWindows Media Playerのヘルプをご参照ください。

FOMA端末をパソコンから切断する

1 パソコン側で、リムーバブルディスクの安全停止または取り外し操作を行う

- 例えば、Windows® 7／Windows Vista®／Windows® XPでは、「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を行います。

2 本FOMA端末側の「USBマスストレージ」画面で「USBストレージをOFFにする」

- microSDカードがパソコンから切断され、「USBストレージをONにする」が表示されます。

3 付属のUSB接続ケーブル L01をFOMA端末およびパソコンから取り外す

アプリケーション

マーケット

Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスして、FOMA端末にダウンロード、インストールすることができます。

Androidマーケットを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「マーケット」

- Androidマーケット利用規約が表示されます。これは、初めてAndroidマーケットを開く場合のみ表示されます。

2 「同意する」

- Androidマーケットが開きます。

お知らせ

- アプリケーションのインストールは、安全であることをご確認の上、自己責任において実行してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままになります。パケット通信を切断するには、ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」をタップし、「データ通信を有効にする」のチェックマークを外します。
- Androidマーケットについての情報が必要な場合には、マーケットを開いた状態で ▶「ヘルプ」をタップします。

アプリケーションを検索する／インストールする

1 目的のアプリケーションを検索する

- 「マーケット」画面で 🔍 をタップしてキーワードを入力すると、アプリケーションの名前などでアプリケーションを検索できます。

2 アプリケーション名をタップする

- アプリケーションの情報が表示されます。画面には、説明、スクリーンショット、共有、このアプリケーションを共有、レビュー、関連、デベロッパー情報、アプリケーションをもっと見る、デベロッパーにメールを送信、デベロッパーのウェブページにアクセスする、マーケットコンテンツ、不適切なコンテンツとして報告、が表示されます。レビューには、すでに利用しているユーザーの感想や評価が表示されます。

3 インストール操作を続けるには「無料」（無料アプリケーションの場合）または金額のボタン（有料アプリケーションの場合）をタップする

- アプリケーションがFOMA端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するのか表示されます。

4 「OK」

- ダウンロードされ、自動的にインストールされます。インストールが完了すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。

お知らせ

- 内容をよくご確認ください。アプリケーションをインストールすると、そのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。
- 有料アプリケーションの場合には、購入が必要です。購入方法について詳しくは「アプリケーションを購入する」（P153）をご参照ください。
- ダウンロードに長い時間を要する場合、「マイアプリ」をタップして表示される画面で進捗状況を確認できます。
- アプリケーションの多くは数秒でインストールが終了しますが、長い時間ダウンロードが終了しない場合には、「マイアプリ」▶ 該当のアプリをタップ ▶「キャンセル」をタップすることで、ダウンロードを中止できます。
- ダウンロードおよびインストールが正常に終了すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを表示させて、アプリケーション名をタップしてください。インストールされたアプリケーションが開きます。

アプリケーションを更新する

インストールしたアプリケーションが更新された場合、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。また、「マイアプリ」画面で更新されたことが確認できます。いずれの場合でも更新されたことを確認した場合、更新操作が行えます。

1 「マイアプリ」画面で、「更新」と表示されているアプリケーションをタップする

2 「アップデート」▶「OK」

- インストールと同様の手順でアプリケーションが更新できます。

お知らせ

- 「マーケット」画面で「マイアプリ」をタップすると「マイアプリ」画面が表示されます。更新されたアプリケーションには「更新」と表示されます。アプリケーションをタップすることで、インストールと同様の手順で更新することができます。

アプリケーションをアンインストールする

インストールしたアプリケーションは、任意にアンインストールできます。

1 「マイアプリ」画面で、いずれかのアプリケーションをタップする

- アプリケーションの情報が表示されます。

2 「アンインストール」

- メッセージが表示されます。

3 「OK」

アプリケーションを購入する

有料アプリケーションの場合は、ダウンロードする前に購入してください。既定の時間試用することができます。購入後既定の時間に返金を請求しない場合は、そのままクレジットカードより料金が支払われます。

お知らせ

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後、アンインストールしたり再びダウンロードする場合、その都度料金を支払う必要はありません。
- 同じGoogleアカウントを使用しているAndroidデバイスが他にある場合、購入したアプリケーションは他のデバイスでもすべて無料でダウンロードできます。

アプリケーションの購入

1 購入するアプリケーションをタップする

- アプリケーションの機能やすでに利用しているユーザーの感想や評価が表示されます。

2 「購入」の下の金額のボタン ▶「OK」

- アプリケーションがFOMA端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するか表示されます。
- 購入手続き画面が表示されます。
- 初回購入時には、「支払い方法を選択」▶「クレジットカードを追加」▶「OK」をタップして、Google Checkoutの手続きをしてください。
  「Google Checkout」は、FOMA端末からアプリケーションを購入するための高速、安全、便利な購入手段です。
  Google Checkoutについて詳しくは、http://checkout.google.com/をご参照ください。

3 お持ちのGoogle Checkoutアカウントに複数のクレジットカードアカウントを使用している場合は、いずれかのアカウントを選択する

4 「払い戻しポリシー」リンク、「Googleの請求とプライバシーポリシー」リンクをタップし、読み終えたら ⮌ タップする

- 購入手続き画面に戻ります。

5 「今すぐ購入」

- アプリケーションのダウンロードとインストールが行われ、Androidマーケットホームページに戻ります。

お知らせ

- Google CheckoutはGoogleのサービスです。
- FOMA端末にはGoogle Checkoutパスワードが記録されるため、画面ロックを設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。詳しくは、「位置情報とセキュリティ」(P105)をご参照ください。
- アプリケーションに満足できない場合、購入後規定の時間内であれば返金を要求できます。アプリケーションは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金要求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金要求はできません。操作手順について詳しくは、次項を参照してください。

返金とアプリケーションの削除

1 「マーケット」画面で「マイアプリ」

- 「マイアプリ」画面が表示されます。

2 アンインストールするアプリケーションをタップする

3 「払い戻し」

- アプリケーションを削除する理由を質問するメニューが表示されます。なお、メニューが表示されない場合、試用期間が終了しています。

4 いずれかの理由をタップして「OK」

DecoMarket

デコマーケットでは、デコメール®で送受信できる絵文字・ピクチャ・テンプレートなどのデコメール®素材を購入することができます。

DecoMarketを利用する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「DecoMarket」

- Welcome!画面が表示されます。これは、初めてデコマーケットを開く場合のみ表示されます。

2 「【必読】利用規約を読む」

- 利用規約が表示されます。

3 利用規約を読み終えたら ‹

4 「利用規約に同意して進む」

- デコマーケットが表示されます。

お知らせ

- デコマーケットのご利用には、パケット通信（3G ／ GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- デコマーケットへの接続およびデコマーケットで紹介しているデコ素材のダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。
- デコマーケットで紹介しているデコ素材には、一部有料のデコ素材が含まれます。
- デコマーケットで紹介しているサイト、または、そこから取得された情報によって生じたいかなる損害についても、ドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- デコマーケットで紹介しているデコ素材の動作内容、使用目的への適合性、信頼性に関してドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本サイト上に掲載されている著作物（デコメール®素材など）の著作権は、ドコモまたは第三者が保有しており、著作権法その他の法律ならびに条約により保護されております。私的使用目的の複製、引用など著作権法上認められている範囲を除き、著作権者の許諾なしに、これらの著作物を複製、翻案、公衆送信などすることはできません。

マップ

「マップ」では、現在地の表示、別の場所の検索、および経路の検索ができます。Googleマップを開くと、近くの基地局からの情報により、おおよその現在地が表示されます。GPSで現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

お知らせ

- 現在地を取得する前にGPS機能を有効にしてください。
- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態（3G／GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
- 3G／Wi-Fiの接続のみでは、現在位置が検出されない場合があります。

位置情報サービスについて

現在地の測位には、モバイルネットワークとWi-FiおよびGPSを使用する方法があります。Wi-Fiでは、高速で現在地の測位ができますが、正確さに欠けることがあります。GPSを使用すると、多少時間を要することはありますが、正確な測位ができます。現在地を測位する場合には、Wi-FiとGPSの両方を有効にすることで、双方の長所を活かすことができます。

GPSとは

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信してFOMA端末の位置情報を取得する機能です。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、FOMA端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。

- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - 高圧線の近く
  - 自動車や電車などの室内
  - 大雨や雪などの悪天候
  - かばんや箱の中
  - FOMA端末の周囲に障害物（人や物）がある
  - FOMA端末の画面、ボタン、マイクやスピーカ周辺を手で覆い隠すように持っている場合
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。

お知らせ

- 本FOMA端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。
- 現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることをご確認ください。数分経っても現在地が測位できない場合は、場所を移動する必要があります。
- 測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナを覆わないようにしてください。
- GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度要することがあります。

GPS機能を有効にする

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「位置情報とセキュリティ」

2 「GPS機能を使用」にチェックマークを付ける

- 「注意」メニューが表示されます。

3 「同意する」

- GPS機能が有効になります。

Wi-Fiによる現在地検索を有効にする

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「位置情報とセキュリティ」

2 「無線ネットワークを使用」にチェックマークを付ける

- 「位置情報についての同意」メニューが表示されます。

3 「同意する」

- Wi-Fiを使用するアプリケーションで位置検索が使用できます。

お知らせ

- Wi-Fiを利用した位置情報は個人を特定しない形で収集されます。なお、アプリケーションが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。

マップを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「マップ」

- Googleマップが開きます。
- 以下の方法で地図を拡大／縮小できます。

操作	説明
ピンチアウト／ピンチイン	2本の指で広げると拡大、つまむと縮小できます。
ダブルタップ	2回続けてタップすると、拡大できます。
2本指でタップ	2本指でタップすると、縮小できます。

現在地を特定する

1 マップ画面で をタップする

- 現在地が地図上に青い矢印の点滅で表示されます。

ストリートビューを見る

現在地のストリートビューに表示を切り替えることができます。

1 マップ画面でストリートビューを表示したい部分を1秒以上タッチする

- ふきだしが表示されます。

2 ふきだしをタップ ▶ をタップする

- ストリートビューが表示されます。

お知らせ

- ストリートビューは対応していない地域もあります。非対応地域の場合は薄いグレー表示の となり、対応地域の場合は濃いグレー表示の となります。
- 「ストリートビュー」画面をドラッグすると、表示する方角を変更できます。ピンチアウト／ピンチインすると、表示を拡大／縮小することができます。 をドラッグすると、表示する場所を移動できます。
- ストリートビューを表示している状態で、 ▶「コンパスモード」をタップすると、本FOMA端末の地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。

特定の場所を検索する

1 マップ画面で「地図を検索」ボックスをタップし、検索する場所を入力する

- 検索文字として住所の他に、地名、施設名（例：東京　美術館）を指定できます。
- 「地図を検索」ボックスをタップすると、以前に検索または参照したすべての場所のリストが表示されます。リストをタップし、その位置を表示することもできます。

2 をタップする

- 該当する場所が地図上にアイコン表示されます。

3 場所のアイコンをタップする

- ふきだしに地名や施設名が表示されます。

4 ふきだしをタップする

- 詳細情報が表示されます。

：マップ画面に戻ります。

：表示している場所へのナビを開始したり経路を検索します。

：電話をかけることができます。

：その他のオプションを表示します。

- 表示される情報や利用できるオプションは、場所により異なります。

お知らせ

- 音声入力により検索することもできます。詳しくは「音声で検索する」（P61）をご参照ください。

レイヤを変更する

地図上に複数の情報を重ねて表示できます。

レイヤを追加する

1 マップ画面で をタップする

- 「レイヤ」メニューが表示されます。各レイヤでは、以下の情報が表示されます。

渋滞状況		渋滞状況を表示します。ただし、提供地域は限定されています。
航空写真		航空写真を表示します。
地形		地形を表示します。
バズ		該当の地域に設定されている口コミ、写真、動画などの共有情報を表示します。
Latitude		Latitudeに参加します。詳しくは「Latitudeに参加する」（P163）をご参照ください。
地図をクリア		表示されたレイヤや経路検索結果などをすべてクリアします。
その他のレイヤ	マイマップ	パソコンで作成したマイマップが閲覧できます。マイマップは本FOMA端末からは閲覧のみで、作成はできません。
	Wikipedia	W を表示します。W をタップすると、その場所に関するWikipediaの記事が閲覧できます。
	路線図	路線情報を表示します。ただし、提供地域は限定されています。

レイヤを削除する

1 **マップ画面で をタップする**

- 「レイヤ」メニューが表示されます。

2 **チェックマークが付いているレイヤをタップする**

- チェックマークが外れ、レイヤが削除されます。

経路を調べる

目的地への詳しい経路を表示できます。

1 **マップ画面で ▶「経路」をタップする**

2 **「出発地※1」ボックスに出発地を入力 ▶「到着地」ボックスに目的地を入力する**

- それぞれのボックスの右にある をタップするとメニューが表示され、「現在地※2」「連絡先」「地図上の場所」「スター付きの場所※3」から出発地、到着地を選択することもできます。

※1 「出発地」ボックスには、「現在地」が入力されています。

※2 「出発地」ボックスまたは「到着地」ボックスに「現在地」が入力されている場合には「到着地」ボックスまたは「出発地」ボックスの右にある をタップしてもメニューに表示されません。

※3 スターを付けた場所がある場合のみ表示されます。

3 **移動の方法として / / のいずれかをタップする**

4 **「実行」**

- 目的地への経路がリスト表示されます。

5 **いずれかの経路をタップする**

- 選択した経路が表示されます。

お知らせ

- 自動車や徒歩、自転車で経路検索した場合、経路が地図で表示されます。
- 画面左上のアイコンをタップすると、移動方法として「車」／「公共交通機関」／「徒歩」／「自転車経路」が選択できます。
- が表示された場合、 をタップすると、Googleマップナビが起動し、目的地までの経路案内が開始されます。
- をタップすると、「出発地」／「目的地」を変更できます。
- 公共交通機関で経路検索した場合、「目的地」の下に経路の候補が表示されます。いずれかの経路をタップすると、乗車時刻や乗り換えの電車、駅の名前、利用金額などの詳細が表示されます。
- をタップすると、「出発日時」／「到着日時」／「最終」などで経路が検索できます。
- 「より早い時刻」または「より遅い時刻」をタップすることで前後の時間の経路が検索できます。
- 自動車や徒歩、自転車で経路検索した場合、「目的地」の下に表示される項目をタップすると、方向転換などの経路上のポイントが地図で表示されます。

地図をクリアする

表示されたレイヤや経路検索結果などをすべてクリアします。

1 マップ画面で をタップする

- 「レイヤ」メニューが表示されます。

2 「地図をクリア」

- 表示されたレイヤや経路検索結果がクリアされます。

お知らせ

- クリアする内容がない場合、「地図をクリア」はグレー表示となり、タップできません。
- マップ画面で をタップし、チェックマークが付いているレイヤをタップしてチェックマークを外すことで、特定のレイヤだけをクリアすることもできます。
- マップ画面で ▶「地図をクリア」をタップしても、表示されたレイヤや経路検索結果をクリアすることができます。

Latitude

Google Latitudeを利用すると、地図上で友だちと位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。また、メールを送ったり、友だちの現在地への経路が検索できます。
位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友だちを招待するか、友だちからの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Latitude」
- 初めてLatitudeに参加するときは、Googleのプライバシーポリシーに関する確認メッセージが表示されます。

2 「Google プライバシーポリシー」のリンクをタップ ▶ 内容を読み終えたら ⮌ をタップする

3 ▶「Latitudeに参加」▶「許可および共有」
- Latitudeが開き、Googleアカウントで関連づけられたメンバーのリストが表示されます。

Latitudeを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Latitude」
- Latitudeが開き、Googleアカウントで関連づけられたメンバーのリストが表示されます。

お知らせ

- マップ画面で ▶「Latitudeに参加」をタップしても、Latitudeを開くことができます。
- 詳しくは、Latitudeの画面で ▶「地図を表示」▶ ▶「その他」▶「ヘルプ」▶「Latitude」をタップして、モバイルヘルプをご覧ください。

ナビ

Googleマップナビ（ベータ版）は、音声ガイダンス付きの経路案内ソフトです。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ナビ」

- サービス規約が表示されます。「このメッセージを再表示する」にチェックマークをつけると、次回以降も同じメッセージが表示されます。

2 「同意する」

- Googleマップナビが開き、メニューが表示されます。

3 いずれかの項目をタップする

目的地を入力または選択すると、経路案内が開始されます。

- 「目的地を音声入力」：声で目的地を検索
- 「目的地を入力」：目的地を文字で入力
- 「連絡先」：連絡先に登録されている住所を検索
- 「スター付きの場所」：Googleマップでスターを付けた場所を検索
- （経路オプション）：高速道路や有料道路を使うかどうかを設定
- 地図表示：マップを表示

お知らせ

- 運転中の操作は同乗者が行ってください。

プレイス

プレイスを利用すると、現在地の近くのレストランや、カフェ、居酒屋、観光スポット、ATM、ガソリンスタンドなどを簡単に探すことができます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「プレイス」

- プレイスが開きます。

2 「レストラン」／「カフェ」／「居酒屋」／「観光スポット」／「ATM」／「ガソリン」／「近くを検索」のいずれかをタップする

- 検索結果の一覧が表示されます。検索結果をタップすると、詳細な情報が表示されます。

お知らせ

- マップ画面で をタップしてもプレイスを開くことができます。
- 「追加」▶ 検索したいカテゴリを入力 ▶「追加」をタップすると、検索条件を追加できます。

アラーム／時計

時計を開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「アラーム／時計」

- 時計画面が表示されます。時計画面には、日付や曜日、「ニュースと天気」で設定した地域の天気予報も表示されます。

お知らせ

- をタップすると、バックライトが暗くなり、電池の消耗を抑制します。再び をタップすると、バックライトが明るくなります。
- をタップすると、「ミュージック」アプリケーションが起動して、音楽を再生できます。「ミュージック」アプリケーションについて詳しくは「ミュージックプレイヤーを利用する」（P132）をご参照ください。

アラームを設定する

1 時計画面で

- 「アラーム設定一覧」画面が表示され、画面下部には現在時刻が表示されます。

2 「アラーム設定」

- アラームを動作する時刻の設定画面が表示されます。

3 アラーム時刻を設定して「設定」

- アラームが動作するまでの時間が表示された後に自動的に消え、「アラーム設定」画面が表示されます。

4 「アラームをONにする」にチェックマークを付け、他のオプションを設定して「完了」

- 「アラーム設定一覧」画面が表示され、設定されたアラームがリストに追加されます。アラームのオプションとしては以下の設定ができます。

アラームをONにする	チェックマークを付けるとアラームが有効になり、チェックマークを外すと無効になります。
時刻	設定時刻が変更できます。

繰り返し	曜日ごとに繰り返し同じ時刻にアラームが鳴るように設定できます。
アラーム音	アラーム設定時刻に鳴る音が設定できます。
バイブレータ	チェックマークを付けるとアラーム音と同時にバイブレータが動作します。
ラベル	設定したアラームにラベルを付けることができます。

お知らせ

- アラームの設定時刻になると、アラームが動作します。そのとき、メニューも表示されます。「停止」をタップすると、アラームが停止できます。また、「スヌーズ」をタップすると、10分後に再び動作します。

カレンダー

カレンダーについて

本FOMA端末にはスケジュールを管理するためのカレンダーが用意されています。Microsoft Exchange Serverにより構築されているスケジューラー、Googleアカウントをお持ちの場合には、Googleカレンダーのデータと同期できます。

カレンダーを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「カレンダー」

- カレンダー画面が表示されます。

カレンダー表示を変更する／予定を表示する

1日／1週間／1ヶ月表示に変更する

1 カレンダー画面で ▶「日」
- 1日表示になります。

2 カレンダー画面で ▶「週」
- 1週間表示になります。

3 カレンダー画面で ▶「月」
- 1ヶ月表示に戻ります。

お知らせ
- 月表示では上下にスワイプすると、前後の月が表示されます。日表示、週表示では左右にスワイプすると前後の日、週が表示されます。
- 1週間表示または1ヶ月表示になっている場合、カレンダー画面で ▶「今日」をタップすると、システム日付に基づき、今日の欄をハイライト表示できます。

表示するカレンダーの種類を設定する

1 カレンダー画面で ▶「その他」▶「カレンダー」
- 登録されているカレンダーの種類が表示されます。

2 表示するカレンダーの をタップする
- が表示されていると自動更新され、 が表示されているとカレンダーに表示されます。それぞれグレー表示になっている場合には、反映されません。

3 「OK」
- カレンダー画面が表示され、設定に従って情報が表示されます。

お知らせ
- 表示するカレンダーの種類は、本アプリケーションでは作成できません。ブラウザでGoogleカレンダーページにアクセスし「設定」メニューから作成してください。

予定を表示する

1 カレンダー画面で表示する予定をタップする

- 「予定リスト」画面が表示され、予定がリスト表示されます。

お知らせ

- カレンダー画面で ▶「予定リスト」をタップすることで「予定リスト」画面を表示できます。

予定を作成する

1 カレンダー画面で ▶「その他」▶「予定の新規作成」

- 「予定の詳細」画面が表示されます。画面表示に従い各項目を入力し「完了」をタップしてください。

お知らせ

- 作成した予定の時刻が近づくと、ステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして通知パネルを開き、カレンダーの通知をタップすると、「予定のお知らせ」画面が表示されます。「予定の削除」をタップすると通知が消去され、「すべてスヌーズする」をタップすると５分後に再度通知します。

カレンダーの設定を変更する

1 カレンダー画面で ▶「その他」▶「設定」

- 「設定」画面が表示されます。

2 必要に応じて設定を変更する

- 予定の通知方法や通知音／バイブレータ、デフォルトの通知時間の設定が行えます。

電卓

1 ホーム画面で「アプリ」▶「電卓」

- 電卓画面が表示されます。

2 数値および算術演算子を入力する

- 結果が表示されます。

お知らせ

- 電卓画面でキーが表示された部分を左にドラッグまたはスワイプするか、▶「関数機能」をタップすると、関数画面が表示されます。
  関数画面でキーが表示された部分を右にドラッグまたはスワイプするか、▶「標準機能」をタップすると、電卓画面に戻ります。
- 「CLEAR」をタップすると直前に入力した数値または演算子が1文字ずつ削除されます。また「CLEAR」を1秒以上タッチすると、入力したすべての情報が削除されます。
- ▶「履歴消去」をタップすると履歴が消去されます。

GREE

1 ホーム画面で「アプリ」▶「GREE」

- GREEアプリ画面が表示されます。

2 「アプリをダウンロードする」

- GREEアプリダウンロード画面が表示されます。

3 「アップデート」

- このアプリケーションに許可するアクセス権限画面が表示されます。

4 表示内容を確認したら「OK」

- ダウンロードされ、自動的にインストールされます。

5 「マイアプリ」画面で「GREE（グリー）」をタップする

6 「開く」

- 以降、画面の指示に従って操作を行います。

お知らせ

- 本アプリケーションのご利用には、GREEアカウントの作成が必要です。
- Googleアカウントの設定が完了していないと「Googleアカウントでログイン」画面が表示されます。表示に従って操作してください。Googleアカウントをお持ちでない場合には、アカウントの取得操作もできます。
- Androidマーケットを初めて使用する場合、利用規約が表示されます。利用規約を読み終えたら「同意する」をタップしてください。

電子書籍

BookLive! for LG

オンラインの電子書籍サイト「BookLive」にアクセスして電子書籍を閲覧することができます。

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「BookLive! for LG」**

- 初回利用時には、アプリをダウンロードする必要があります。

2 **「BookLive! for LGをダウンロード」をタップする**

- ダウンロードが完了すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。

3 **ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして通知パネルを開き、「BookLiveForLG」のアプリ名をタップする**

- 更新を確認するメッセージが表示されます。

4 **「OK」▶「インストール」▶「開く」▶「同意する」**

5 **書籍を検索し、タップする**

- 以降、画面の指示に従って操作を行います。

BookLive! for LGのメニュー

BookLive! for LGでは以下のメニューが表示されます。

項目	説明
編集	本棚の内容を編集します。
本棚	本棚を選択できます。
Store	「BookLive」にアクセスするためのMyページが表示されます。

Myページのメニュー

Myページでは以下のメニューが表示されます。

項目	説明
会員登録	BookLive!の会員となるための会員登録ページが表示されます。
アカウントの設定	アカウント情報の編集ができます。
電子書籍ストアBookLive!	BookLive!のページが表示されます。
ヘルプ	BookLive!のヘルプを表示します。

マガストア

オンラインの電子雑誌販売サイト「MAGASTORE」にアクセスして、雑誌データを購入することができます。

- MAGASTOREのご利用にはアカウントの登録が必要です。MAGASTOREについて詳しくは、以下のサイトでヘルプをご覧ください。
  http://www.magastore.jp/

1 ホーム画面で「アプリ」▶「マガストア」

2 購入したい書籍を検索し、タップする

- 以降、画面の指示に従って購入操作を行います。

マガストアのメニュー

をタップすると以下のメニューが表示されます。

項目	説明
My本棚	ダウンロード済みの書籍を一覧表示します。
前回誌面	前回読みかけの書籍を表示します。
しおり	閲覧中のページをしおりに登録します。
ホーム	MAGASTOREのトップ画面に戻ります。
設定	ログインまたはアカウントの新規登録ができます。

LG World

1 ホーム画面で「アプリ」▶「LG World」

- 「LG World」画面が開きます。

LG Worldのメニュー

LG Worldでは以下のメニューが表示されます。

項目	説明
Hot & New	Hot & New画面を表示します。
Apps	Apps画面を表示します。
動画	動画画面を表示します。
検索	検索画面を表示します。
マイアプリ	マイアプリ画面を表示します。

YouTube

YouTubeの動画を再生したり、撮影した動画をYouTubeにアップロードすることができます。

- はじめてご利用される際には、「モバイル利用規約」に同意いただく必要があります。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「YouTube」

- 「YouTube」画面が開きます。
  - ：キーワードを入力して動画を検索
  - ：FOMA本体のカメラで動画を撮影してYouTubeにアップロード
- 動画をアップロードするには、YouTubeアカウントでログインする必要があります。

2 再生したい動画をタップする

- 動画が再生されます。
  - HQ：高画質（HQ）再生と低画質再生を切り替え
- 画面をタップすると、一時停止させたり、再生バーを表示して再生位置を変えたりできます。

Polaris Office

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Polaris Office」

- 「Polaris Office」画面が開きます。

お知らせ

- ユーザー登録をしていないと、「Polaris Office」を起動した際にユーザー登録画面が表示されます。
- パスワード付きのファイルは利用できない場合があります。
- パソコンなどで作成したファイルは、表示が変更されることや表示できない場合があります。

ファイルの種類と形式

Polaris Officeを利用して、FOMA端末本体やmicroSDカードに保存されているWord、Excel、PowerPointなどのファイルを読んだり、編集したりできます（2011年12月現在）。

種類	拡張子
Microsoft Word (Word 97 ～ Word 2007)	doc, docx
Microsoft Excel (Excel 97 ～ Excel 2007)	xls, xlsx
Microsoft PowerPoint (Power Point 97 ～ PowerPoint 2007)	ppt, pptx
Adobe PDF (Version 1.2～1.7)	pdf
Text file	txt

お知らせ

- Polaris Officeで編集できるのはWord、Excel、PowerPointのみです。
- Polaris Officeを利用してWord 2007、Excel 2007、PowerPoint 2007の編集をした場合、それぞれdoc、xls、pptの形式で保存されます。

ニュースと天気

最新のニュースや現在地の天気予報などを表示できます。

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「ニュースと天気」**

- 「ニュースと天気」アプリケーションが開きます。

2 **「天気予報」タブ、またはニューストピックのタブをタップする**

- 「天気予報」タブでは、今日の天気予報と、週間天気予報が表示されます。
- ニューストピックのタブでは、ニュースの見出しの一覧が表示されます。ニュースの見出しをタップすると、ブラウザでニュースサイトにアクセスして、ニュースの詳細が表示されます。
- 左右にドラッグしても、タブを切り替えることができます。

お知らせ

- ▶「更新」をタップすると、位置情報を取得して、情報を更新します。
- ▶「設定」をタップすると、天気予報、ニュース、更新に関する設定を行うことができます。

トルカ

トルカとは、ケータイに取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、サイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示、検索、更新ができます。

- トルカの詳細については「ご利用ガイドブック（spモード編）」をご覧ください。

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「トルカ」**

お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  - 更新
  - メールを利用しての送信
  - microSDカードへの移動、コピー
  - 地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。

- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。

電子辞典

単語を検索する

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「電子辞典」**

- 辞典画面が表示されます。

2 **検索文字を入力する**

- 入力した文字に一致する単語がリスト表示されます。

3 **いずれかの単語をタップする**

- 意味が表示されます。

お知らせ

- ⮌ をタップすると、再び検索できます。

検索対象の辞典を変更する

「旺文社英和辞典」「旺文社和英辞典」「旺文社国語辞典」のいずれかに検索対象の辞典を変更できます。

1 辞典画面で ▶「辞典変更」
 - 「辞典変更」メニューが表示されます。

2 いずれかの辞典をタップする
 - 検索対象の辞典が変更されます。

検索履歴から検索する

1 辞典画面で ▶「検索履歴」
 - 「検索履歴」画面が表示され、検索を行った単語がリスト表示されます。

2 いずれかをタップする
 - 該当する単語の意味が表示されます。

蛍光ペンでマーキングする

1 単語の意味が表示された画面で ▶「蛍光ペン」
 - 表示されている単語がマーキングされます。

単語帳に登録する／単語帳を表示する

検索結果を単語帳に登録することができます。

1 単語の意味が表示された画面で ▶「保存」
 - 単語帳に登録されます。

2 辞典画面で ▶「単語帳」
 - 「単語帳」画面が表示され、登録された単語がリスト表示されます。

3 いずれかの単語をタップする
 - 単語の意味が表示されます。

お知らせ

- 「単語帳」画面で「すべて」をタップして「ENG」または「JPN」をタップすると、タップした言語の単語だけを表示することができます。
- 単語帳は、登録順にリスト表示されますが、「単語帳」画面において ▶「並び替え」をタップすると、単語順に変更することもできます。
- 「単語帳」画面で ▶「削除」をタップすると、登録されている単語を削除できます。

辞典の設定を変更する

1 辞典画面で ▶「辞典設定」

- 「辞典設定」画面が表示されます。

2 必要に応じて設定を変更する

- 蛍光ペンの色や文字サイズの設定を行うことができます。

ダウンロード

本FOMA端末はインターネットから画像や音楽、ウェブページなどをダウンロードできます。ダウンロードしたデータを確認、表示、または再生するには以下の操作を行ってください。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ダウンロード」

- ダウンロードしたファイルが一覧表示されます。

2 確認するファイルの名前をタップする

- ダウンロードしたファイルが表示／再生されます。

お知らせ

- ダウンロード方法はウェブページによって異なる場合があります。ウェブページの指示に従ってファイルをダウンロードしてください。
- SSLで通信するウェブページや認証を必要とするウェブページに含まれるファイルはダウンロードできないことがあります。

アプリケーションマネージャー

アプリケーションマネージャーを利用して、起動中のアプリケーションの確認・終了などができます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「アプリケーションマネージャー」

タブ名	説明
実行中のアプリケーション	使用中のアプリケーションを表示します。CPUや電源を多く使用するアプリケーションは、赤色の文字で説明文が記述されています。 • アプリケーションを終了するには、「全て停止」または「停止」をタップします。 • ▶「並べ替え順」をタップすると、「開始時刻」/「アプリケーション名」/「CPU利用時間」/「RAM使用量」ごとの表示に切り替わります。
インストール済みアプリケーション	インストールしたアプリケーションを一覧表示します。ただし、プリインストールのアプリケーションは、このリストに表示されません。 • 「アンインストール」をタップすると、インストール済みのアプリケーションをアンインストールできます。 • ▶「並べ替え順」をタップすると、「インストール日時」/「アプリケーション名」/「サイズ」ごとの表示に切り替わります。
ヘルプ	アプリケーションマネージャーについての詳細が確認できます。

お知らせ

- アプリケーションマネージャーのウィジェットをホーム画面に配置すると、現在実行中のアプリケーションの数をいつもチェックすることができます。
- アプリケーションを終了させると、システムに問題を引き起こす場合があります。
- バックグラウンドで動作しているアプリケーションは、「実行中のアプリケーション」リストに表示されない場合があります。

データや設定のバックアップ

バックアップと復元を利用する

「バックアップと復元」アプリケーションを利用すると、通話ログ（通話履歴）、連絡先、カレンダー（スケジュール）、システム設定、テキストメッセージ（SMS）、ブックマークをmicroSDカードにバックアップできます。

お知らせ

- 同期されている連絡先はバックアップされません。

バックアップする

1 ホーム画面で「アプリ」▶「バックアップと復元」
- バックアップと復元メニューが表示されます。
- 初めて起動したときは使用許諾契約書が表示されるので、「同意」をタップします。

2 「バックアップ」▶「メモリーカード」

3 「新規追加」
- すでにバックアップしたファイルがある場合は、ファイル名をタップするとファイルを置き換えてバックアップできます。

4 バックアップファイルの名前を入力し、「続行」
- バックアップ対象のリストが表示されます。

5 バックアップしたくない項目がある場合は、タップしてチェックマークを外す

6 「続行」
- バックアップファイルが作成されます。

7 完了の画面で、「続行」
- バックアップと復元メニューに戻ります。

バックアップファイルから復元する

データを復元する場合は、microSDカードのバックアップファイルに含まれるデータで、FOMA端末のデータを置き換えます。データの復元には十分ご注意ください。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「バックアップと復元」

- バックアップと復元メニューが表示されます。

2 「復元」▶「メモリーカード」

3 復元するファイルをタップする

- 復元対象のリストが表示されます。

4 復元したくない項目がある場合は、タップしてチェックマークを外す

5 「続行」▶「データの復元」

- バックアップファイルからデータが復元されます。

6 完了の画面で、「続行」

お知らせ

- 復元項目にシステム設定が含まれる場合、復元後にFOMA端末の再起動が必要です。完了の画面で「はい」をタップしてください。

バックアップのスケジュールを設定する

スケジュールを設定すると、自動的にバックアップができます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「バックアップと復元」

- バックアップと復元メニューが表示されます。

2 「スケジュール」▶「メモリーカード」

3 バックアップする周期をタップして選択する

- 「毎週」「2週間毎」「毎月」をタップした場合は、続けて曜日や日付を選択してください。

4 「続行」

- バックアップ対象のリストが表示されます。

5 バックアップしたくない項目がある場合は、タップしてチェックマークを外す

6 「続行」

- バックアップのスケジュールが設定されます。

お知らせ

- 「バックアップ開始時刻」で開始時刻を設定してください。
- FOMA端末の電源を切っている場合は、バックアップ開始時刻になってもバックアップは実行されません。

バックアップと復元の設定を変更する

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「バックアップと復元」**

- バックアップと復元メニューが表示されます。

2 **▶「設定」**

- 「バックアップ設定」画面が表示されます。

3 **必要に応じて設定を変更する**

- セキュリティの設定や、スケジュールでバックアップしたファイルを保持する件数の設定が行えます。

連絡先（電話帳）をバックアップする

本FOMA端末の連絡先（電話帳）をmicroSDカードにバックアップすることができます。また、ドコモUIMカードやmicroSDカードに保存されている連絡先（電話帳）を本FOMA端末に読み込むことができます。

連絡先（電話帳）をmicroSDカードにバックアップする

1 **ホーム画面で「連絡先」**

- 「連絡先」タブが表示されます。

2 **▶「インポート／エクスポート」**

- メニューが表示されます。

3 **「microSDにエクスポート」**

4 **エクスポートしたい連絡先（電話帳）をタップ▶「エクスポート」▶「OK」**

- 連絡先（電話帳）がmicroSDカードに書き出されます。

連絡先（電話帳）をドコモUIMカードやmicroSDカードから読み込む

1 ホーム画面で「連絡先」

2 ▶「インポート／エクスポート」
- メニューが表示されます。
- ドコモUIMカードから読み込む場合は、「UIMからインポート」をタップしてください。

3 「UIMからインポート」または「microSDからインポート」をタップする

4 インポートしたい連絡先（電話帳）をタップする
- 連絡先（電話帳）読み込まれます。

メッセージ（SMS）をドコモUIMカードにバックアップする

最大20件のメッセージ（SMS）をドコモUIMカードにコピー／移動することができます。

1 ホーム画面で「メッセージ」
- 「メッセージ」画面が表示されます。

2 いずれかの受信メッセージまたはスレッドをタップする
- メッセージが表示されます。

3 バックアップするメッセージを1秒以上タッチする
- 「メッセージオプション」メニューが表示されます。

4 「UIMカードにコピー」または「UIMカードに移動」をタップする
- メッセージ（SMS）がドコモUIMカードにコピー／移動されます。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

- **対応エリアについて**
  本FOMA端末は3Gネットワークおよび GSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- **海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。**
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの『国際サービスホームページ』

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国 地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

主な通信サービス	3G	GSM／GPRS	GSM
電話	○	○	○
SMS	○	○	○
メール※1	○	○	×
パケット通信※1	○	○	×
GPSの現在地確認※2	○	○	×

（○：利用可能　×：利用不可）

※1 spモードをご利用のお客様は、アクセスポイントの変更なくご利用いただけます。
ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミング設定を有効にしてください。（P192）
mopera Uのパケット定額サービスをご利用のお客様はアクセスポイントの設定変更が必要です。（P192）

※2 GPS測位（現在地確認）を行うとパケット通信料がかかります。

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

● **ご契約について**

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● **充電について**

- 海外でのご利用は日本よりも電池を多く消耗する場合があります。
- ACアダプタの取り扱い上のご注意について、詳しくは「アダプタについてのお願い」（P23）をご参照ください。
- ACアダプタでの充電方法について、詳しくは「ACアダプタで充電する」（P36）をご参照ください。

● **料金について**

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。
- ご利用のFOMA端末やアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますので、各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

● **遠隔操作設定について**

- ご契約されている留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスを海外から操作するには、遠隔操作設定を開始に設定します。操作方法につきましては『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。

● **SMS受信拒否について**

- 海外でSMS（圏外時などの着信情報を含む）の受信を拒否するように設定できます。操作方法につきましては『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。

事前設定

● **ネットワークサービスの設定について**

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス･転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには､「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

● **接続について**

「ネットワークオペレーター」の設定で「利用可能なネットワーク」を「自動選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

「利用可能なネットワーク」を手動で定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が定額でご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

- mopera Uをご利用のお客様は、アクセスポイントを従量制のアクセスポイントに設定することで、ローミング時にデータ通信が利用可能になります。従量制のアクセスポイントであっても、パケット定額サービスをご契約中で、定額サービスの対象事業者を選択した場合は、定額でご利用いただけます。
- 従量制のアクセスポイントを利用した場合は、日本に帰国する前にアクセスポイントを「mopera U（スマートフォン定額）」に切り替えてください（P192）。切り替えずに日本国内で使用した場合、料金が高額になる恐れがあります。

ネットワーク設定を変更する方法について、詳しくは「海外のネットワーク接続に関する設定を行う」(P190)をご参照ください。

● **ディスプレイの表示について**

- ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。

アイコン	ネットワークの種類
G／G	GPRS接続中／使用中
3G／3G	3G(パケット)接続中／使用中

- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

● **時計設定について**

「日付と時刻」の「自動」のチェックボックスにチェックマークを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでFOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- サマータイムがある国は、現地時間と待受画面の表示時間のずれがないかご確認ください。接続した海外通信事業者によっては利用できないことがあります。
- 手動で設定する場合は、「自動」のチェックマークを外して、「日付の設定」「タイムゾーンの選択」「時刻の設定」をそれぞれ行ってください。(「日付と時刻」→P113)

● **国際ローミング中のネットワークサービスの利用について**

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスを操作できます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。操作方法につきましては『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。

- 海外からネットワークサービスを操作するには、「遠隔操作設定」を開始に設定する必要があります。遠隔操作設定につきましては、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。
- 国際ローミング中に電話が着信した場合、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを設定したり、着信を規制（ローミング時着信規制）したりすることができます。操作方法につきましては『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。
- 海外からネットワークサービスを操作した場合、ご利用の国の国際通話料がかかります。
- 接続する海外の通信事業者によっては、海外から操作可能なネットワークサービスも利用できないことがあります。

● **着信通知について**

国際ローミング中にFOMA端末の電源が入っていないときや圏外のときに着信があったときに、着信情報（着信日時や発信者番号）をＳＭＳでお知らせします。

● **お問い合わせについて**

- FOMA端末やドコモ UIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書裏面をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通信・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」

2 「ネットワークモード」▶「GSM/WCDMA自動」

- 3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークの両方がご利用できます。

3 「ネットワークオペレーター」▶「自動選択」

- 接続できる通信事業者を自動で検出します。

滞在先での電話のかけかた／受けかた

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。

1 ホーム画面で「電話」

- 「電話」タブが表示されます。

2 ＋（「0」を１秒以上タッチする）▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番）▶ 相手先電話番号の順に入力する

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

3

4 通話が終了したら「終了」

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 **ホーム画面で「電話」**
- 「電話」タブが表示されます。

2 **相手の電話番号を入力する**
- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）＋相手先電話番号を入力します。

3 （発信アイコン）

4 **通話が終了したら「終了」**

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。
- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「＋」と「81」（日本の国番号）を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

日本国内での操作と同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ
- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。
- 海外での利用時には、「着信拒否」が動作しない可能性があります。（P78）

相手からの電話のかけかた

- **日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合**
  日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
- **日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合**
  滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際電話アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。
  発信国の国際電話アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX

海外のネットワーク接続に関する設定を行う

海外で本FOMA端末を使用する場合は、滞在先で接続できる通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。
お買い上げ時は、接続できるネットワークを自動的に検出して切り替えるように設定されていますが、手動で設定を変更することもできます。

ネットワークモードを設定する

1. **ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「ネットワークモード」**
2. **優先して使用するネットワークモードをタップする**
   - GSM ／ WCDMA自動：3GネットワークとGSM ／ GPRSネットワークを自動で選択して使用します。
   - WCDMAのみ：3Gネットワークのみを使用します。
   - GSMのみ：GSM ／ GPRSネットワークのみを使用します。

お知らせ

- データ通信中に、ネットワークモードを切り替えると、データ通信が中断し、ネットワークサービスが切断されます。

接続できる通信事業者を確認して手動で設定する

1 **ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「ネットワークオペレーター」**

- 「利用可能なネットワーク」画面が表示されます。

2 **「ネットワークを検索」**

- 「利用可能なネットワーク」画面に、通信事業者名のリストが表示されます。
- 「ネットワークを検索」をタップして、再検索することもできます。
- 「ネットワークモード」（P190）の設定により、表示される通信事業者名は異なる場合があります。

3 **接続する通信事業者名をタップする**

お知らせ

- 接続する通信事業者を手動で設定した場合、FOMA端末がサービスエリア外に移動しても別の接続可能な通信事業者には自動的に接続されません。
- 接続する通信事業者を手動で設定した場合は、日本に帰国後、「自動選択」に設定してください。
- データ通信中に、ネットワークオペレーターを切り替えると、「ネットワークの検索中にエラーが発生しました。」メッセージが表示され、データ通信が中断し、ネットワークサービスが切断されます。

接続できる通信事業者を自動で選択する

1. ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「ネットワークオペレーター」
2. 「自動選択」

データローミングを有効にする

1. ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」
2. 「データローミング」にチェックマークを付ける
   - 注意のメッセージが表示されます。
3. 「OK」

パケット通信のアクセスポイントを切り替える

- **spモードの場合**
  海外の通信事業者ネットワークに接続してパケット通信を行う際、アクセスポイントが「spモード」に設定されている場合は、アクセスポイントの変更を行わずにそのままご利用いただけます。
  アクセスポイントを変更している場合は、「spモード」など海外でご利用いただけるアクセスポイントへの変更が必要となります。
- **mopera U（スマートフォン定額）の場合**
  海外でスマートフォンに接続する際、アクセスポイントを「mopera U（スマートフォン定額）」に設定している場合は、アクセスポイントの切り替えが必要です。

1. ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」
   - APN設定画面が表示されます。
2. ▶「APNの追加」
3. 「名前」に任意の名前を入力 ▶「OK」
4. 「APN」に「mopera.net」と入力 ▶「OK」
5. ▶「保存」

6 作成したアクセスポイントのラジオボタンをタップして選択する

お知らせ

- mopera.netを利用した場合は、日本に帰国する際にアクセスポイントを「mopera U（スマートフォン定額）」（P102）に切り替えてください。切り替えずに使用した場合、料金が高額になる恐れがあります。

付録／索引

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- リアカバー L24
- 電池パック L14
- USB接続ケーブル L01
- ACアダプタ L02※1
- FOMA充電microUSB変換アダプタ L01
- FOMA ACアダプタ 01※2／02※2
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※2
- FOMA DCアダプタ 01※2／02※2
- FOMA 乾電池アダプタ 01※2
- FOMA 補助充電アダプタ 02※2
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- 骨伝導レシーバマイク 02
- 車載ハンズフリーキット 01
- 車内ホルダ 01
- キャリングケース 02

※1 ACアダプタ L02の充電方法について→P36
※2 L-07Cに接続するには、FOMA充電microUSB変換アダプタ L01が必要です。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。（ソフトウェア更新→P204）
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症　状	チェック
FOMA端末の電源が入らない	・電池パックが正しく取り付けられていますか。 ・電池切れになっていませんか。→P34

■ 充電

症　状	チェック
充電ができないハードウェアキーが点滅しない	・電池パックが正しく取り付けられていますか。 ・アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 ・アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。 ・充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して電池の状態アイコンが充電中にならない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
画面に「充電してください」と表示される	・電池残量が少ない場合は充電してください。→P34

■ 端末操作

症　状	チェック
操作中・充電中に熱くなる	・操作中や充電中、また、充電しながら動画撮影などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	・圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 ・電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 ・電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
電源断・再起動が起きる	・電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
キーを押しても動作しない	・画面ロックを設定していませんか。→P105
キーを押したときの画面の反応が遅い	・FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
ドコモUIMカードが認識しない	・ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。 →P30
時計がずれる	・長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 「設定」の「日付と時刻」で「自動」にチェックマークが付いているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

症　状	チェック
端末動作が不安定	・ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 ・セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から電源ボタンを押し、2回目のLGロゴ画面が表示されたら、Gキーを3秒以上押し続けてください。 ※ セーフモードが起動するとホーム画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。

症　状	チェック
端末動作が不安定	・必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ・お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 ・セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

■ 通話

症　状	チェック
をタップしても発信できない	・「UIMカードのロック」を設定していませんか。→P108 ・フライトモードを設定していませんか。→P97
着信音が鳴らない	・音量設定の電話着信音量を最小にしていませんか。→P103 ・マナーモードに設定していませんか。→P103 ・留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。→P89、P93
通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	・電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを入れ直してください。 ・電波の性質により、「圏外ではない」「電波状況を示す電波レベルが4本表示している 」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 ・電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

症 状	チェック
ディスプレイが暗い	• 画面バックライト消灯時間を設定していませんか。→P104 • 画面の明るさ調整を変更していませんか。→P104 • 電池残量が少なくなっていませんか。→P34

■ 音声

症 状	チェック
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 音量キーで通話音量を調節してください。→P79

■ カメラ

症 状	チェック
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

■ 海外利用

症 状	チェック
海外でFOMA端末が使えない	**■ アンテナマークが表示されている場合** • WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。 **■ 圏外が表示されている場合** • 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。 • ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 - 「ネットワークモード」を「GSM/WCDMA自動」に設定する（P188） - 「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定する（P192） • FOMA端末の電源を「OFF」にした後、再び「ON」にすることで回復することがあります。

症　状	チェック
海外でデータ通信ができない	• データローミング設定を有効にしてください。（P192）
海外で利用中に、突然FOMA端末が使えなくなった	• 利用停止目安額を超えていませんか。 • 「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

症　状	チェック
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードを差し直してください。（P32）
画像表示しようとすると が表示される またはデモプレビューで が表示される	• 画像データが壊れている場合は ／ が表示される場合があります。

■ Bluetooth機能

症　状	チェック
Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	• Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、FOMA端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→P146
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説　明
通信サービスなし	• サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。 • ドコモUIMカードが正しく機能していません。ドコモUIMカードを抜き差ししても改善しない場合は、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。
UIM PUKロックされています	PINコード（P107）を正しく入力してください。
SIMカードはPUKでロックされています	PUK（PINロック解除コード）（P108）を正しく入力してください。
メモリ不足です	空き容量がありません。不要なアプリケーションを削除（P109）して容量を確保してください。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳（連絡先）などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳（連絡先）などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本FOMA端末は、電話帳（連絡先）のデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ **以下の場合は、修理できないことがあります**

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ **保証期間が過ぎたときは**

- ご要望により有料修理いたします。

■ **部品の保有期間は**

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
 使用箇所：スピーカー、マイク部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

L-07Cのソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページにてご案内させていただきます。
ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。

自動更新 ： 新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。

即時更新 ： 更新したいときにすぐ更新を行います。

予約更新 ： アップデートパッケージをインストールする時刻を予約すると、予約した時刻に自動的にソフトウェアが更新されます。

お知らせ

- ソフトウェア更新は、L-07Cに登録された連絡先、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のL-07Cの状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。万が一のトラブルに備え、必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電にしておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中・圏外にいるとき
  - 国際ローミング中
  - フライトモード中
  - Wi-Fiネットワークとの接続中
  - OSバージョンアップ中
  - 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要な空き容量が十分でないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用することはできません（ダウンロード中は音声着信が可能です）。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバー（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、電波レベルが4本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。

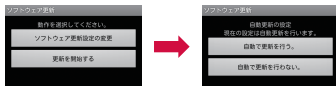
  ※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。

・すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に［更新の必要はありません。このままお使いください］と表示されます。
・国際ローミング中、もしくは圏外にいるときには、「ローミング中もしくは圏外時は更新ができません。」と表示されます。
・ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、「充電不足のため更新ができません。フル充電してから再度更新を実行してください。」と表示されます。
・ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
・ソフトウェア更新の際、お客様のL-07C固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
・ソフトウェア更新に失敗した場合、［書換え失敗しました］と表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
・PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中にて、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
・ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

ソフトウェア更新を自動で行う＜自動更新＞

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
お買い上げ時は、自動更新設定が「自動で更新を行う」に設定されています。
書換え可能な状態になると通知アイコン（ソフトウェア更新有）が表示され、書換え時刻の確認を行い、書換え時刻の変更や今すぐ書換えするかを選択できます。
通知アイコン（ソフトウェア更新有）が表示された状態で書換え時刻になると、自動で書換えが行われ、通知アイコン（ソフトウェア更新有）は消去されます。
書換え時刻になったとき、電池残量が不足していた場合や、音声通話中の場合はソフトウェア更新を開始せず、翌日の同時刻に再度ソフトウェア更新を行います。
自動更新設定が「自動で更新を行わない」になっている場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

自動更新の設定

1 **ホーム画面で ▶「設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」▶「ソフトウェア更新設定の変更」**

2 **ソフトウェア更新通知があったときの動作を選ぶ**

- 自動でソフトウェア更新をするとき：「自動で更新を行う。」
- 自動でソフトウェア更新をしないとき：「自動で更新を行わない。」

更新が必要な場合の動作

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、ホーム画面に通知アイコン（ソフトウェア更新有）が表示されます。

1 **ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする**

- 通知パネルが表示されます。

2 **「ソフトウェア更新有」をタップする**

3 **書換え方法を選ぶ**

- ソフトウェア更新が必要なときは、書換え時刻が表示されます。

■「OK」
- ホーム画面に戻ります。設定時刻になると書換えを開始します。

■「開始時刻変更」▶「時刻を予約してソフトウェアを更新する」（P210）の操作1へ
- アップデートパッケージのインストールを実行する時刻を設定します。

■「今すぐ開始」▶「すぐにソフトウェアを更新する」（P209）の操作1へ
- 書換えを開始します。
- 書換えが完了すると通知アイコン（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。通知アイコンは、一度確認すると消去されます。

お知らせ

- 自動更新時刻にソフトウェア更新が起動できなかったときは、ホーム画面に通知アイコン（ソフトウェア更新有）が表示されます。

ソフトウェア更新を起動する＜即時更新＞

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」▶「更新を開始する」▶「はい」

- ダウンロードを開始すると、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは削除されます。

- ソフトウェア更新の必要がないときには、「更新の必要はありません。このままお使いください。」と表示されます。

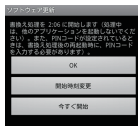
2 表示される画面の指示に従って操作を進める

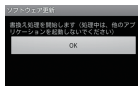
- 再起動後更新を開始します。
- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 更新中に2回自動的に再起動します。

3 ホーム画面が表示される

- 通知アイコン（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。通知アイコンは、一度確認すると消去されます。

すぐにソフトウェアを更新する

1 「今すぐ開始」

2 「書換え処理を開始します」と表示される ▶「OK」

- 「書換え処理を開始します」の表示が約３秒経過すると、自動的に書換えを開始します。
- 書換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。書換えを中止することもできません。
- 書換えが終了すると、自動的に再起動します。

3 再起動後、自動的にソフトウェア更新が開始される

- 更新中は、すべてのボタン操作が無効になります。更新を中止することもできません。
- 更新を終了すると、約５秒後に自動的に再起動します。

4 ホーム画面が表示される

- ソフトウェア更新を終了すると、ホーム画面が表示されます。
- ホーム画面に更新が完了したことを表す通知アイコン ✔（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。通知アイコンは、一度確認すると消去されます。

ソフトウェア更新終了後の表示について

ステータスバーに ✔ が表示されます。ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプすると、通知パネルが表示されます。「ソフトウェア更新が完了しました。」をタップすると、ソフトウェア更新が完了したことを示すメッセージが表示されます。

時刻を予約してソフトウェアを更新する

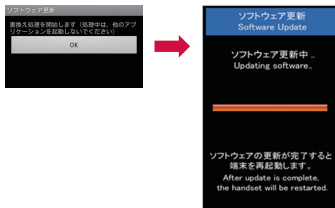
アップデートパッケージのインストールを別の時間に予約をしたい場合は、ソフトウェア更新を行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 「開始時刻変更」

- 書換え開始時刻設定画面が表示されます。
- 時刻は、L-07Cの時刻に合わせて表示されます。

2 希望の時刻を入力 ▶「OK」

- 「＋」／「－」をタップして更新時刻を変更します。

予約した時刻になると

1 「書換え処理を開始します」と表示される ▶「OK」

- 「書換え処理を開始します」の表示後約３秒経過すると、自動的にソフトウェア更新を開始します。
- ソフトウェア更新を予約した時刻には、電波の十分届くところでホーム画面を表示させておいてください。
- 予約した時刻にソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、翌日の同時刻にソフトウェア更新を行います。
- 予約した時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合は、ソフトウェア更新が優先されます。

- 予約した時刻にOSバージョンアップ中の場合、ソフトウェアは更新されません。
- ソフトウェア更新の予約時刻になったときL-07Cの電源を切った状態の場合は、電源を入れたあと、予約時刻と同時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

主な仕様

■ 本体

<table>
<tr><td colspan="3">品　名</td><td>L-07C</td></tr>
<tr><td colspan="3">サイズ（H×W×D）</td><td>約122mm×
約64mm×
約9.5mm
（最厚部：約9.5mm）</td></tr>
<tr><td colspan="3">質　量</td><td>約112g</td></tr>
<tr><td colspan="3">メモリ</td><td>ROM 2GB＋RAM 512MB</td></tr>
<tr><td rowspan="4">連続待受時間</td><td rowspan="3">FOMA／3G</td><td>静止時（自動）</td><td>約340時間</td></tr>
<tr><td>移動時（3G固定）</td><td>約270時間</td></tr>
<tr><td>移動時（自動）</td><td>約240時間</td></tr>
<tr><td colspan="2">GSM</td><td>約290時間（静止時）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">連続通話時間</td><td colspan="2">FOMA／3G</td><td>約300分</td></tr>
<tr><td colspan="2">GSM</td><td>約330分</td></tr>
</table>

充電時間		ACアダプタ： 約270分 DCアダプタ： 約270分
ディスプレイ	**方式**	TFT　262,144色
	サイズ	約4.0 inch
	ドット数	480ドット×800ドット WVGA
撮像素子	**種類**	CMOS
	サイズ	1/4.0 inch
	有効画素数	約510万画素
カメラ部	**記録画素数（最大時）**	約500万画素
	ズーム（デジタル）	静止画撮影時： 最大約3.0倍 動画撮影時： 最大約3.0倍
静止画記録サイズ		2,592×1,944（5M） 2,048×1,536（3M） 1,600×1,200（2M） 1,280×960（1M） 640×480（VGA） 320×240（QVGA）
動画記録サイズ		1,280×720（HD） 720×480（TV） 640×480（VGA） 320×240（QVGA） 176×144（QCIF）
フレームレート		最大30fps
音楽再生	**MP3ファイル**	連続再生時間： 約900分（バックグラウンド再生対応）

無線LAN		IEEE802.11b/g/n ※1に準拠
Bluetooth	対応Bluetoothバージョン	Bluetooth標準規格Ver.3.0※2
	出力	Bluetooth標準規格Power Class 2
	見通し通信距離※3	約10.0m以内
	対応Bluetoothプロファイル※4	HFP、HSP、OPP、SPP、A2DP、AVRCP、PBAP、FTP(Server)

※1 IEEE802.11nの2.4GHz周波数帯のみ対応しています。

※2 本FOMA端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。

※3 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

※4 Bluetooth対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場所など）などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通信やインターネット接続をしなくてもメールを作成したり、カメラやアプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■ 電池パック

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	1,500mAh

ファイル形式

本FOMA端末は以下のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種　類	ファイル形式
Audio	MP3、AAC、AAC+、HE-AAC、MIDI、AMR、OGG、PCM(WAVE)
Image	PNG、JPG、GIF、BMP、WBMP
Video	MPEG4、H264、H263@720p

静止画は次に示すファイル形式で保存されます。

種　類	ファイル形式
静止画	JPEG

■ 静止画の撮影枚数（目安）

解像度	microSDカード（2GB）に保存できる撮影枚数
320×240（QVGA）	約59,877枚

■ 動画の録画時間（目安）

解像度	microSDカード（2GB）に保存できる撮影枚数
640×480（VGA）	最大約150分（1件あたり） 最大約150分（合計）

携帯電話機の比吸収率など

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種L-07Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W／kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.517 W／kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
　http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
　http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
　http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
LG Electronicsホームページ（本FOMA端末の「仕様」のページをご確認ください）
　http://www.lg.com/jp/mobile-phones/all-phones/index.jsp
（URLは予告なく変更される場合があります。）

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のＳＡＲの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（平成23年10月現在）

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver.
Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified

power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.72W/kg, and when worn on the body, is 0.60W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID BEJL07C.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Declaration of Conformity

The product "L-07C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.

Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.606W/kg at the ear, and 0.602W/kg when worn on the body. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

---

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value.
This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

European Union Directives Conformance Statement

CE0168 ⓘ **Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:**

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

Wi-Fi (WLAN)	This device is intended for sale in Japan only. It can be operated in all European countries. The WLAN can be operated in the EU without restriction indoors, but cannot be operated outdoors in France, Russia and Ukraine

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

NOTE: Excessive sound pressure from earphones can cause hearing loss.

For other Medical Devices:

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「spモード」「エリアメール」「デコメール®」「メロディコール」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「mopera」「mopera U」「ｉチャネル」「eトリセツ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- LG On-Screen PhoneはLG Electronics Inc.の日本における登録商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- GoogleおよびGoogle ロゴ、Android、Androidマーケットおよび Androidマーケット ロゴ、Googleマップ、Google トーク、Googleカレンダー、GmailおよびGmail ロゴ、YouTubeおよびYouTube ロゴは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player 、Adobe® Flash® Lite® テクノロジーを搭載しています。
  - Adobe Flash Player Copyright© 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

  - Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  - Adobe、FlashおよびFlash Liteは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。

索引

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種お申込・お手続き
※ ご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※ ただし、傷病者の救護または公共の安全維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ **マナーモード→P103**
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（P88）、転送でんわサービス（P92）などのオプションサービスが利用できます。

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*（無料）**

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-07Cからご利用の場合は+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0／+」を1秒以上タッチします）。

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*（無料）**

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-07Cからご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0／+」を1秒以上タッチします）。

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

- **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**
- **お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

受付時間　24時間（年中無休）

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　LG Electronics Inc.

'11.12 (2版)
MFL67216902